

(2) 小項目評価

福岡市立病院機構の概要

1 現況（平成31年4月1日現在）

① 法人名

地方独立行政法人福岡市立病院機構

② 本部の所在地

福岡市東区香椎照葉5丁目1番1号

③ 役員の状況

役員	氏名	備考
理事長	原 寿郎	福岡市立こども病院 院長
副理事長	桑野 博行	福岡市民病院 院長
理事	石原 進	九州旅客鉄道株式会社 相談役
	久保 千春	九州大学 総長
	神坂 登世子	前 福岡県看護協会 会長
	野中 耕太	運営本部 運営本部長
監事	久留 和夫	公認会計士
	柳澤 賢二	弁護士

④ 設置・運営する病院

病院名	所在地	病床数
福岡市立こども病院	福岡市東区香椎照葉5丁目1番1号	一般病床 239床
福岡市民病院	福岡市博多区吉塚本町13番1号	一般病床 200床 感染症病床 4床

⑤ 職員数

(令和元年5月1日現在)

区 分	職員数
合 計	997人
福岡市立こども病院	597人
福岡市民病院	389人
運営本部	11人

## 2 基本的な目標等

地方独立行政法人福岡市立病院機構は、地方独立行政法人制度の特長である自律性、自主性を最大限に発揮し、医療制度改革や診療報酬改定など医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ柔軟に対応しつつ、効率的な病院経営を行いながら、地域の医療機関等との機能分担や連携の下、引き続き高度専門医療、救急医療等を提供し、地域における医療水準の向上、市民の健康の維持及び増進に寄与すべく、以下の基本理念及び基本方針の下、福岡市長から指示された中期目標を達成する。

### 〈基本理念〉

いのちを喜び、心でふれあい、すべての人を慈しむ病院を目指します。

### 〈基本方針〉

質の高い医療の提供

地域・社会に貢献する病院

健全な病院経営

## 1 法人の総括と課題

法人設立10年目となる令和元年度については、福岡市から示された第3期中期目標期間の3年目であり、中期目標の達成に向け、医療水準のさらなる向上を目指し、医療機能の強化や経営の効率化等に取り組んだ。

福岡市から独立した法人として、地方独立行政法人制度の特長を最大限に生かした自律的な経営が求められていることを踏まえ、理事長を中心に、両病院と運営本部が一体となった運営を行うとともに、外部理事を含む理事会を定期的で開催し、経営管理の徹底を図った。

これらの経営基盤の下、第3期中期計画及び令和元年度の年度計画に基づき、こども病院においては、中核的な小児総合医療施設として、これまで培ってきた小児医療（高度・地域・救急）及び周産期医療の更なる充実を図るとともに、胎児心臓病に特化した胎児循環器科を新設するなど患者のニーズや医療環境の変化に即した診療体制の見直し等を図った。

また、福岡市民病院においては、4疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞及び糖尿病）への対応を中心に高度専門医療の更なる充実を図るとともに、高度救急医療並びに感染症医療機能の充実に努めた。

さらに、新型コロナウイルス感染症対策に取り組むとともに、両病院ともに地域医療支援病院としての役割を踏まえ、積極的に地域の医療機関との連携強化に取り組み、地域医療への貢献に努めた。

経営収支面では、増収対策として、診療報酬改定を踏まえた施設基準に必要な運用方法の見直しや、医療費の未収金発生防止などに努めるとともに、コストパフォーマンスを考慮した診療材料等の選定や価格交渉の徹底など費用削減に取り組んだ結果、こども病院において当期純利益は8億7,300万円余となったが、福岡市民病院において2億7,000万円余の当期純損失が発生した。

今後の課題としては、こども病院においては、求められる高度小児医療、小児救急医療及び周産期医療を提供する病院としての役割を果たしていくため、必要な病床数や医療機能等について、医療環境の変化を踏まえながら、検討を進めていく必要がある。

また、福岡市民病院においては、地域医療構想、医療計画にて求められる高度専門医療並びに救急医療体制を提供するために必要な取組を継続して行うとともに、災害時や感染症等発生時などの緊急時には、事業継続計画に基づき、福岡市及び関係機関との連携の下、市立病院として求められる役割を果たす必要がある。

## 2 大項目ごとの取組状況及び特記事項

### 第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

#### 1 医療サービス

福岡市の医療施策として求められる高度専門医療、高度救急医療等を引き続き提供するために、診療機能の更なる充実を図った。

こども病院においては、最善の出生前管理及び出生後の治療提供体制強化を目的として、胎児心臓病に特化した胎児循環器科を4月に新設するとともに、入院決定時からの患者サポート等の強化・充実を図るため、看護師、MSW等の多職種協働による「入退院支援推進チーム」の設置や特定集中治療室において、重症患者の早期離床を目的として、医師、看護師、理学療法士等の多職種により構成する「早期離床・リハビリテーションチーム」を立ち上げた。

福岡市民病院においては、医療法で定められた医療計画における4疾病への対応を中心に、高度専門医療の更なる充実を図り、消化器センター・肝胆膵センターを中心として、がんに対する鏡視下手術や化学療法等の集学的治療を提供するとともに、脳神経・脳卒中センターにおいて、発症後早期のt-PA療法や超急性期における血管内治療、外科的治療等を包括的に実施した。また、ハートセンターでは虚血性心疾患に対するPCI（冠動脈狭窄性病変に対してカテーテルを用いて拡張を行う治療）を含む手術、経皮的な心筋焼灼術など、難易度、専門性の高い手術等に取り組むとともに、カテーテルアブレーション機器のソフトウェアのバージョンアップを実施し、より安全で安心な医療提供に努めるなど、高度専門医療のさらなる充実を図った。

また、両病院ともに地域医療支援病院としての役割を更に高めるため、開放型病床への登録医の拡大やオープンカンファレンスの開催などを通じて、地域の医療機関を中心に積極的な病病連携・病診連携に努めた。

さらに、新型コロナウイルス感染症の流行に際して、事業継続計画（BCP）を踏まえながら、福岡市との連携のもと、こども病院においては、院内の感染対策室やICT（感染対策チーム）を中心に、福岡市民病院においては、院内に新型コロナウイルス対策本部を設置して疑似症患者の受入れ体制をいち早く整えるとともに、保健所や他の感染症指定医療機関と連携し、適切に対応した。

#### 2 患者サービス

患者一人ひとりに質の高い医療及び充実した看護を提供することが患者サービスの基本と捉えたうえで、より一層の接遇改善を含め、職員が一丸となって患者サービスの向上に取り組むとともに、ボランティアの協力も得ながら患者満足度の向上に努めた。

こども病院においては、サービス向上WGが中心となって、患者アンケートの中から対応可能な案件について迅速に対処・実行し、院内環境を整備するなど、患者サービスの向上を図った。

福岡市民病院においては、患者サポート相談窓口での対応分をCS（Customer Satisfaction）委員会に報告し、情報を共有するとともに、患者またはその家族等からの医療・福祉に関する相談などについて、患者サポート相談窓口を中心に適切に対応した。また、床頭台（テレビ・冷蔵庫付）の全面更新を行う等、院内環境の整備を行った。

さらに、両病院ともに、市民や医療関係者等に対して最新の病院情報を発信するとともに、「病院指標」をホームページに公開し、一般の人にも分かり易く解説するなど、市民に開かれた病院づくりに努めた。

### 3 医療の質の向上

医師事務作業補助者の増員及び特定行為看護師の育成等により「医師の働き方改革」を進めるとともに、ワーク・ライフ・バランス推進委員会において、引き続き、年休の取得率向上に取り組むなど、職員が長く働き続けられる職場環境づくりを推進した。

こども病院においては、熱帯感染症等の診断と治療を実践的に学ぶため、9月にタイ王国の大学が主催する熱帯医学短期研修へ医師3名を派遣し、医療技術の向上を図った。

福岡市民病院においては、看護師の「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」の特定行為区分に関する研修施設としての申請を行い、厚労省より指定を受けた。

両病院ともに、市民に信頼される安全・安心な医療を提供するため、感染症専門医や感染管理認定看護師等を中心に院内の感染防止対策の徹底を図るとともに、医療安全研修会の開催や院内各部署への迅速な情報共有等を通じて、職員の安全対策に対する意識向上を図るなど、医療安全対策の強化を図った。

## 第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

### 1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実

市立病院機構の運営を的確に行うため、令和元年度は計8回の理事会を開催し、理事会の方針決定に沿った運営を行った。

また、病院長のリーダーシップの下、執行部会議や経営五役会議等を開催し、各病院の実態に即した機動性の高い病院経営に取り組むとともに、運営本部と両病院合同による経営会議及び運営調整会議を毎月開催し、機構全体的な視点から、市立病院として適切な独法運営に取り組んだ。

### 2 事務部門の機能強化

資質向上を目的とした研修を実施するとともに、将来のリーダーとなる職員を育成するため、外部の経営講座の派遣研修を実施した。また、こども病院において、院内主要会議のペーパーレス化を実施したほか、RPA（Robotic Process Automation）のプロジェクトチームを立ち上げ、給与計算にかかる事務作業を削減するなど、職員の事務作業の効率化を図った。

### 3 働きがいのある職場環境づくり

職員が安心して働きつづけることができるよう、夜間保育を継続実施するなど、福利厚生の充実に取り組んだ。また、「看護師働き方検討会議」を開催し、業務と自己研鑽の明確化など看護師が働きやすい環境づくりの更なる推進に向けて検討を進めた。

さらに、令和2年4月施行の同一労働同一賃金の趣旨を踏まえ、正規職員と同じ給料表の適用や、新たに地域手当、特殊勤務手当等の支給、病気休暇の新設や職務免除の拡大など有期職員就業規則等の一部改正を行った。

### 4 法令遵守と公平性・透明性の確保

新規採用職員研修など様々な機会を通じて職員の服務規律の指導を徹底し、法人職員として有すべき行動規範と倫理観の確立に努めるとともに、個人情報保護及び情報公開に関しては、福岡市の関係条例等に基づき、適切に対応した。

## 第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

### 1 経営基盤の強化

執行部会議等を定期的に開催し、病院の経営状況を踏まえ、取り組むべき課題を明確にしたうえで、増収及び費用削減に取り組むとともに、月次決算の実施など経営に関する情報を迅速に把握し、経営分析や他病院との比較・分析等を通じて、効率的な病院経営に取り組んだ。

また、自己財源の確保対策として、積立金の運用方法を工夫するなどにより積立金の運用利益を確保したほか、価格交渉の徹底等により必要な医療機器を確保しつつ費用の抑制を図るなど、効率的な予算執行と自己財源の確保に努めた。

### 2 収支改善

こども病院においては、病棟のほとんどが特定入院料を算定する病床となっているほか、国内最多件数の先天性疾患の手術が実施されるなど、高度専門医療による非常に高い入院診療単価を実現できている。そのような専門医療が必要な患者を全国から多数受け入れ、効率的な病床管理により堅調に入院患者数を維持し、当年度の医業収益は目標値を5,600万円上回る97億5,500万円と、平成30年度に次いで、開院以来2番目となる年間収益額を達成した。

また、福岡市民病院においては、診療報酬改定に向けての施設基準に必要な運用方法の見直しや、PFMセンターを設置して受入れ体制を整えるなどしたが、医業収益は56億1,700万円余で、前年度より4億4,800万円余の減となった。

一方、費用削減対策については、診療材料の同種同効品への切替えや、ジェネリック医薬品の使用拡大により価格低減を図るとともに、経費全般においても価格交渉の徹底、契約手法の見直しに努め、削減を図った。

これらの結果、経営に関する3指標（総収支比率、経常収支比率、医業収支比率）について、こども病院において目標を達成し、福岡市民病院において目標を下回ったが、市立病院機構全体での当期純利益は6億300万円余となった。

## 【医業収益】

(単位：千円)

区 分	平成30年度実績	令和元年度実績 ( )は予算上の目標値	比較増減 ( )は実績－目標値
福岡市立こども 病院	9,913,103	9,755,519 (9,698,634)	▲157,584 (56,885)
福岡市民病院	6,065,484	5,617,281 (6,144,752)	▲448,203 (▲527,471)
法人全体	15,978,587	15,372,800 (15,843,386)	▲605,787 (▲470,586)

## 【営業費用】

(単位：千円)

区 分	平成30年度実績	令和元年度実績 ( )は予算上の目標値	比較増減 ( )は実績－目標値
福岡市立こども 病院	10,296,692	10,442,990 (10,939,602)	146,298 (▲496,612)
福岡市民病院	6,548,984	6,442,448 (6,699,622)	▲106,536 (▲257,174)
法人全体	16,845,676	16,885,438 (17,639,224)	39,762 (▲753,786)

(注) 計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているもので、端数において合計とは一致しないものがある。

## 【経常収支比率】

(単位：%)

区 分	平成30年度実績	令和元年度実績 ( )は元年度目標値	比較増減 ( )は実績－目標値
福岡市立こども 病院	110.9	108.2 (102.9)	▲2.7 (5.3)
福岡市民病院	100.6	95.8 (100.0)	▲4.8 (▲4.2)
法人全体	106.9	103.5 (101.8)	▲3.4 (1.7)

## 第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

### 1 福岡市立こども病院における医療機能の充実

厚生労働省DPC公開データにおいて、川崎病センター（211例）及び先天性心疾患に係る手術症例（113例）について、成人を含む全国のDPC病院の中で症例数が4年連続で全国一位となった。

また、日本医療研究開発機構（AMED）の研究代表として、川崎病の新しい病態を解明し、欧州一流紙「Cardiovascular Research」に発表するとともに、科学研究費助成事業（文部科学省）で初めて研究代表として採択された課題等に積極的に取り組み、共同研究を含め8件の研究に参加したほか、日本で最多の実施症例数となる治験が3件となった。

さらに、国際医療支援センターを中心に、職員の外国語能力・コミュニケーション能力の向上を目指して、医療英語・中国語研修の開催や、日本臓器移植ネットワーク主催研修への派遣を行うとともに、机上や手術室を用いた実地シミュレーションを行った。

### 2 福岡市民病院における経営改善の推進

市立病院として求められる役割を果たすため、新型コロナウイルス感染症の流行に際しては、疑似症患者の受入れ体制をいち早く整えるとともに、保健所や他の感染症指定医療機関と連携して、迅速かつ適切に対応しつつ、高度専門医療、救急医療及び感染症医療に必要な医療資源（人的・物的）の投入を適切に行うなど、診療体制や医療機能の充実を図った。

また、地域医療支援病院として、かかりつけ医との連携等、地域の医療水準全体の底上げを目標とした諸活動を継続して行うとともに、中長期修繕計画に基づき、施設の長寿命化及び費用の標準化を目的に、施設・設備の適切な維持管理に取り組んだ。

#### 【福岡市民病院 医業収支比較】 (単位：百万円)

区分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
医業収益 a	5,739	5,496	5,686	6,065	5,617
営業費用 b	6,228	6,227	6,090	6,549	6,442
差引 (a-b)	▲489	▲730	▲404	▲483	▲825
比率 (a/b)	92.1%	88.3%	93.4%	92.6%	87.2%

(注1) 平成27年度決算より、消費税等に係る費用計上を営業外費用から営業費用に変更している。

(注2) 計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。



【主な目標値の達成状況】

区 分		福岡市立こども病院			福岡市民病院		
		元年度 目標値	元年度 実績値	達成率	元年度 目標値	元年度 実績値	達成率
患者 動 向	1人1日当たり入院単価（円）	107,088	108,393	101.2	67,926	64,081	94.3
	1人1日当たり外来単価（円）	12,323	11,492	93.3	23,068	22,965	99.6
	1日当たり入院患者数（人） （病床利用率（%））	216.1 (90.4)	215.5 (90.2)	99.7 (99.8)	192.6 (94.4)	183.9 (90.2)	95.5 (95.6)
	新規入院患者数（人）	7,322	7,428	101.4	4,830	4,525	93.7
	平均在院日数（日）	10.0	9.7	103.1	12.3	12.7	96.9
	1日当たり外来患者数（人）	377.0	389.5	103.3	230.0	219.7	95.5
医 業 活 動	手術件数（件）	2,983	2,929	98.2	3,600	3,719	103.3
	救急搬送件数（件）	1,477	1,380	93.4	3,000	2,820	94.0
	紹介率（%）	87.8	94.8	108.0	88.0	88.7	100.8
	逆紹介率（%）	64.5	68.7	106.5	150.0	152.3	101.5
	薬剤管理指導件数（件）	6,200	4,929	79.5	9,400	9,588	102.0
	栄養食事指導・相談件数（件）	1,200	1,412	117.7	960	1,144	119.2
患 者 満 足	退院時アンケートの平均評価点数 （こども病院）（100点満点）	88.8	89.0	100.2	—	—	—
	患者満足度調査における平均評価 点数（福岡市民病院）（100点満点）	—	—	—	89.5	89.6	100.1
経 営 収 支	給与費対医業収益比率（%）	57.5	56.2	102.3	56.3	62.9	89.5
	材料費対医業収益比率（%）	20.2	17.5	115.4	28.7	27.0	106.3
	薬品費対医業収益比率（%）	7.7	5.5	140.0	9.2	8.4	109.5
	診療材料費対医業収益比率（%）	12.0	11.6	103.4	19.4	18.4	105.4
	委託費対医業収益比率（%）	9.8	9.3	105.4	7.1	7.6	93.4
	ジェネリック医薬品導入率（%）※	87.4	89.9	102.9	88.0	88.7	100.8
	総収支比率（%）	102.9	108.2	105.2	100.0	95.8	95.8
	経常収支比率（%）	102.9	108.2	105.2	100.0	95.8	95.8
	医業収支比率（%）	88.5	93.4	105.5	91.6	87.2	95.2

※1 ジェネリック医薬品導入率については、数量ベースにて算出している。

※2 平成27年度決算より控除対象外消費税等及び資産に係る控除対象外消費税等償却の表示区分を営業外費用から営業費用に変更しているため、医業収支比率については、平成28年度まではこれらの金額を差し引いて算出しているが、平成29年度達成目標以降はこれらを含めて算出している。

項目別の状況

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1 医療サービス (1) 良質な医療の実践</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 医療サービス</p> <p>(1) 良質な医療の実践</p> <p>福岡市立こども病院及び福岡市民病院が、それぞれに求められる役割を着実に果たすため、次のとおり診療機能の強化・充実に取り組む。</p> <p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>高度小児医療、小児救急医療及び周産期医療の更なる充実に取り組むとともに、医療環境の変化等を踏まえ、福岡市立こども病院に求められる役割を果たせるよう、診療機能（特に集中治療系病床等）の充実や見直しを図る。</p>	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 医療サービス</p> <p>(1) 良質な医療の実践</p> <p>福岡市立こども病院及び福岡市民病院が、それぞれに求められる役割を着実に果たすため、次のとおり診療機能の強化・充実に取り組む。</p> <p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>① 周産期センターにおいて、胎児診断治療の強化を図るため、胎児循環器科を新設する。</p> <p>また、平成30年度のNICU再編に伴う重症患者の増加に対応するため、NICUに医師1名を増員する。</p> <p>② 入院決定時からの患者サポート等を強化・充実するため、多職種協働による入退院支援部門を確立する。</p> <p>③ 重症患者の増加への対応及び医療の質の向上を図るため、特定集中治療室において、多職種により構成する早期離床・リハビリテーションチームを立ち上げる。</p> <p>④ 3Dモデル診療教育支援室を新設し、3Dプリンタを利用した臓器や骨などの医療用実体モデルの製作を行い、手術シミュレーション、患者や家族への説明、学生・研修医などの教育に活用する。</p> <p>⑤ 治療に関する選択肢の増加や患者の多様化する価値観等を踏まえ、十分な倫理的配慮を持って組織的に治療方針を決定するため、倫理コンサルテーションチームを立ち上げる。</p>

中期目標(内容)	<p>市立病院機構は、地域における医療水準の向上を図り、市民の健康の維持及び増進に寄与するため、福岡市における医療政策として求められる高度専門医療、救急医療等を提供すること。</p> <p>また、その役割を安定的・継続的に果たすため、患者のニーズや医療環境の変化に即して、診療機能の充実や見直しを図ること。</p> <p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>これまで培ってきた高度小児専門医療、小児救急医療及び周産期医療の更なる充実を図るとともに、中核的な小児総合医療施設として求められる役割を果たすこと。</p>
----------	--

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウ エ イ ト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>① 最善の出生前管理及び出生後の治療提供体制強化を目的として、胎児心臓病に特化した胎児循環器科を4月に新設した。また、平成30年度のNICU再編(18床→21床)に伴う重症患者に対応するため、NICUに医師を1名増員した。</p> <p>② 入院決定時からの患者サポート等の強化・充実を図るため、3月に看護師、MSW等の多職種協働による「入退院支援推進チーム」を設置した。</p> <p>③ 特定集中治療室において、重症患者の早期離床を目的として、医師、看護師、理学療法士等の多職種により構成する「早期離床・リハビリテーションチーム」を立ち上げた。</p> <p>④ 3Dモデル診療教育支援室を新設し、3Dプリンタを利用した臓器や骨などの医療用実体モデルを、試作を含め22体製作し、患者家族への説明や教育及び学生・研修医等の教育に活用した。</p> <p>⑤ 治療に関する選択肢の増加や患者の多様化する価値観等を踏まえ、倫理に関する相談窓口として、医師や看護師等の多職種による倫理コンサルテーションチームを立ち上げた。</p> <p>● 新型コロナウイルス感染症の流行に際しては、福岡市との連携のもと、院内の感染対策室やICT(感染対策チーム)を中心に、疑似症患者の受入れ体制を整え、保健所からの指示のもと適切に対応した。</p> <p>また、県内の新型コロナウイルス感染患者数の増加に伴い、県内の指定感染症病床が不足すると見込まれるため、当院の陰圧設備が整備された病床の一部を使用する方向で検討するとともに、マスク等の防護具や消毒液等の物品の確保に努めた。</p> <p>一方、職員に対しては、新型コロナウイルス感染症に関する研修や、メールによる情報発信、感染患者来院時のシミュレーションを実施するなど、院内感染防止に関する取組を行った。</p>	2	3	3	<p>○ 胎児循環器科の新設、多職種協働の「入退院支援推進チーム」や「早期離床・リハビリテーションチーム」を設置するなど、診療機能の強化・充実に取り組んでおり、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>

中期計画			年度計画		
<b>【目標値】</b>			<b>【目標値】</b>		
指標	福岡市立こども病院		指標	福岡市立こども病院	
	平成27年度 実績値	令和2年度 目標値		平成29年度 実績値	令和元年度 目標値
1人1日当たり 入院単価（円）	96,877	99,400	1人1日当たり 入院単価（円）	101,114	107,088
1人1日当たり 外来単価（円）	12,458	11,700	1人1日当たり 外来単価（円）	12,756	12,323
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	184.4 (78.0)	207.8 (86.9)	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	212.1 (88.7)	216.1 (90.4)
新規入院患者数（人）	6,038	6,200	新規入院患者数（人）	6,908	7,322
平均在院日数（日）	10.2	11.2	平均在院日数（日）	10.2	10.0
1日当たり 外来患者数（人）	288.9	300.0	1日当たり 外来患者数（人）	358.9	377.0
手術件数（件）	2,447	2,650	手術件数（件）	2,760	2,983
救急搬送件数（件）	1,028	1,050	救急搬送件数（件）	1,332	1,477
			※ 病床利用率については、総務省による公立病院 決算の算出方法（年延入院患者数÷年延病床数× 100）に基づき算出		

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)			自己評価		市長の評価	
			ウ エ イ ト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
【実績値】						
指標	福岡市立こども病院					
	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値				
1人1日当たり 入院単価(円)	107,411	108,393				
1人1日当たり 外来単価(円)	11,645	11,492				
1日当たり 入院患者数(人) (病床利用率(%))	221.6 (92.7)	215.5 (90.2)				
新規入院患者数(人)	7,424	7,428				
平均在院日数(日)	9.9	9.7				
1日当たり 外来患者数(人)	384.8	389.5				
手術件数(件)	3,018	2,929				
救急搬送件数(件)	1,516	1,380				
※ 病床利用率については、総務省による公立病院決算の算出方法(年延入院患者数÷年延病床数×100)に基づき算出						

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1 医療サービス (1) 良質な医療の実践</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 医療サービス</p> <p>(1) 良質な医療の実践</p> <p>福岡市立こども病院及び福岡市民病院が、それぞれに求められる役割を着実に果たすため、次のとおり診療機能の強化・充実に取り組む。</p> <p>イ 福岡市民病院</p> <p>① 医療法で定められた医療計画における4疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞及び糖尿病)への対応を中心に高度専門医療の更なる充実を図る。</p> <p>② 救急患者の受入れを円滑に行うとともに、より重篤な救急患者の受入れを行う高度救急医療の強化充実を図る。</p> <p>③ 新型インフルエンザ等対策措置法における「指定地方公共機関」として、新型インフルエンザ等の感染症発生時においては、福岡市における対策の中核的役割を果たすため、別途定めるBCP(事業継続計画)に基づき適切に対応する。</p>	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 医療サービス</p> <p>(1) 良質な医療の実践</p> <p>福岡市立こども病院及び福岡市民病院が、それぞれに求められる役割を着実に果たすため、次のとおり診療機能の強化・充実に取り組む。</p> <p>イ 福岡市民病院</p> <p>① 医療法で定められた医療計画における4疾病(がん、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患及び糖尿病)への対応を中心に、特に脳卒中急性期や急性期心血管疾患等に対しては、治療に係る新たな技術の導入について積極的に検討するなど、高度専門医療の充実に取り組む。</p> <p>② 救急患者の受入れを円滑に行うとともに、脳疾患、循環器疾患等の入院や手術を必要とするより重篤な救急患者の受入を積極的に行い、高度救急医療の更なる充実に取り組む。</p> <p>③ 新型インフルエンザ等の感染症発生時においては、別途定める事業継続計画(BCP)に基づき適切に対応し、福岡市における対策の中心的役割を果たす。</p> <p>④ 当院の医療機能を最大限に発揮し、患者にとって最適な病床管理を実現するため、外来から入院、退院調整、在宅医療支援までを総合的に管理するPFM(Patient Flow Management)センターを設置する。</p>

中期目標(内容)	<p>市立病院機構は、地域における医療水準の向上を図り、市民の健康の維持及び増進に寄与するため、福岡市における医療政策として求められる高度専門医療、救急医療等を提供すること。</p> <p>また、その役割を安定的・継続的に果たすため、患者のニーズや医療環境の変化に即して、診療機能の充実や見直しを図ること。</p> <p>イ 福岡市民病院</p> <p>高度専門医療を担う地域の中核病院としての機能を維持するとともに、高度救急医療の更なる充実を図ること。</p> <p>また、新型インフルエンザ等の感染症発生時においては、福岡市における対策の中核的役割を果たすため、必要な対応を図ること。</p>
----------	--

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエイト	評価	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>イ 福岡市民病院</p> <p>① 消化器センター・肝胆膵センターを中心として、がんに対する鏡視下手術や化学療法等の集学的治療を提供するとともに、脳神経・脳卒中センターにおいて、発症後早期のt-P A療法や超急性期における血管内治療、外科的治療等を包括的に実施した。また、ハートセンターでは虚血性心疾患に対するP C I (冠動脈狭窄性病変に対してカテーテルを用いて拡張を行う治療)を含む手術、経皮的心筋焼灼術など、難易度、専門性の高い手術等に取り組むとともに、カテーテルアブレーション機器のソフトウェアのバージョンアップを実施し、より安全で安心な医療提供に努めるなど、高度専門医療のさらなる充実を図った。</p> <p>② 救急対応については、3名の救急専門医で円滑な受入れに努めるとともに、救急隊への教育等にも継続して取り組んだ。地域の他の救急病院も受入れを強化し、競争が増す環境において、件数は目標に達しなかったものの、救急搬送に占めるI C U等での入院治療を必要とする重症患者の割合は増加し、救急医療における公立病院としての役割を果たした。</p> <p>③ 博多区保健福祉センター、博多消防署及び福岡検疫所との合同で新型インフルエンザ等対策に係る机上・実動訓練を実施し、院内における措置手順の検証、問題点の抽出及び意見交換を行い、感染症発生時における対応能力の向上を図った。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の流行に際しては、事業継続計画(B C P)を踏まえながら、福岡市との密な連携のもと、院内に新型コロナウイルス対策本部を設置して疑似症患者の受入れ体制をいち早く整えるとともに、保健所や他の感染症指定医療機関と連携し、適切に対応した。職員に対しては、徹底した院内感染防止の取組として、新型コロナウイルス感染症に関する理解を深めるための研修や、感染が疑われる患者への対応訓練を適宜実施した。</p>	2	3	3	<p>○ 脳卒中急性期、急性期心血管疾患、重症患者の救急搬送を積極的に受け入れるなど、高度専門医療の充実に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症の対応に際しては、第二種感染症指定医療機関として福岡市における感染症医療の中心的な役割を果たすなど、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>

中期計画			年度計画		
【目標値】			【目標値】		
指標	福岡市民病院		指標	福岡市民病院	
	平成27年度 実績値	令和2年度 目標値		平成29年度 実績値	令和元年度 目標値
1人1日当たり 入院単価（円）	64,749	67,000	1人1日当たり 入院単価（円）	64,141	67,926
1人1日当たり 外来単価（円）	22,739	18,200	1人1日当たり 外来単価（円）	20,907	23,068
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	183.7 (90.1)	183.6 (90.0)	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	189.7 (93.0)	192.6 (94.4)
新規入院患者数（人）	4,510	4,800	新規入院患者数（人）	4,709	4,830
平均在院日数（日）	12.6	12.5	平均在院日数（日）	12.6	12.3
1日当たり 外来患者数（人）	234.2	250.0	1日当たり 外来患者数（人）	226.8	230.0
手術件数（件）	3,060	3,100	手術件数（件）	3,534	3,600
救急搬送件数（件）	2,620	2,800	救急搬送件数（件）	3,011	3,000



業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価																														
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																													
<p>④ 患者にとって最適な病床管理を実現することを目的として、副院長権限を委譲した病床管理担当者（看護師）を配置したPFM（Patient Flow Management）センターを設置し、予定外入院の依頼に迅速かつ円滑に対応するための取組を開始した。</p> <p>● 臨床現場において日常的に起こり得る倫理的課題に対し、迅速かつ適切に対応することを目的として、多職種による臨床倫理に関する院内体制を整備した。</p> <p>● 公立病院の役割を果たすべく、高度専門医療、救急医療に継続して取り組んだが、地域の医療環境の変化等の影響により、ほとんどの指標で前年度実績を下回るとともに、目標値に対しても手術件数を除き、目標に達しなかった。</p> <p>【実績値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成30年度 実績値</th> <th>令和元年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1人1日当たり 入院単価（円）</td> <td>67,382</td> <td>64,081</td> </tr> <tr> <td>1人1日当たり 外来単価（円）</td> <td>22,569</td> <td>22,965</td> </tr> <tr> <td>1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））</td> <td>191.1 (93.7)</td> <td>183.9 (90.2)</td> </tr> <tr> <td>新規入院患者数 （人）</td> <td>4,895</td> <td>4,525</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数（日）</td> <td>12.4</td> <td>12.7</td> </tr> <tr> <td>1日当たり 外来患者数（人）</td> <td>232.6</td> <td>219.7</td> </tr> <tr> <td>手術件数（件）</td> <td>3,834</td> <td>3,719</td> </tr> <tr> <td>救急搬送件数（件）</td> <td>3,130</td> <td>2,820</td> </tr> </tbody> </table>	指標	福岡市民病院		平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	1人1日当たり 入院単価（円）	67,382	64,081	1人1日当たり 外来単価（円）	22,569	22,965	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	191.1 (93.7)	183.9 (90.2)	新規入院患者数 （人）	4,895	4,525	平均在院日数（日）	12.4	12.7	1日当たり 外来患者数（人）	232.6	219.7	手術件数（件）	3,834	3,719	救急搬送件数（件）	3,130	2,820				
指標		福岡市民病院																															
	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値																															
1人1日当たり 入院単価（円）	67,382	64,081																															
1人1日当たり 外来単価（円）	22,569	22,965																															
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	191.1 (93.7)	183.9 (90.2)																															
新規入院患者数 （人）	4,895	4,525																															
平均在院日数（日）	12.4	12.7																															
1日当たり 外来患者数（人）	232.6	219.7																															
手術件数（件）	3,834	3,719																															
救急搬送件数（件）	3,130	2,820																															

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1 医療サービス (2) 地域医療への貢献と医療連携の推進</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 医療サービス</p> <p>(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進</p> <p>① 地域医療体制の中核を担う地域医療支援病院としての役割を踏まえ、かかりつけ医等の支援を通じて地域医療への貢献に取り組む。</p> <p>② 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、病病・病診連携を積極的に推進する。</p> <p>③ 福岡市立こども病院については、福岡県小児等在宅医療推進事業の拠点病院として、行政・医療・福祉・教育等の関係機関と連携を深め、小児在宅医療を担う在宅医や訪問看護ステーション等が拡充されるよう支援を行う等、地域における医療提供ネットワーク構築に積極的に参加する。</p> <p>④ 福岡市民病院については、地域包括ケアシステムにおいて急性期病院が担うべき役割として、地域の在宅医療を担う訪問看護ステーションやかかりつけ医等との積極的な連携、支援を行い、在宅復帰支援体制並びに緊急時の入院受入体制の強化を図る。</p>	<p>(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進</p> <p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>① 福岡県医師会診療情報ネットワーク「とびうめネット」を活用し、病病・病診連携の推進を図るとともに、在宅医療・小児慢性特定疾患における多職種連携について検討を行う。</p> <p>② 「福岡県小児等在宅医療推進事業」の拠点病院として、地域におけるネットワーク構築や、院内における退院支援、研修会等を行うほか、福岡県等が実施する「小児慢性特定疾病児童等レスパイト支援事業」に参加し、地域の小児在宅医療の推進に努める。</p> <p>③ 「福岡県母体搬送コーディネーター事業」の中核病院として、積極的に母体搬送を受け入れることにより、地域における周産期救急搬送体制の一翼を担う。</p> <p>④ 厚生労働省が推進する小児期から成人期への移行期医療の体制整備を促進するため、移行期支援外来（たけのこ外来）を中心に、移行期患者教育プログラムを着実に実施する。</p>

中期目標(内容)	地域医療に貢献するため、地域の医療機関との連携・協力体制の更なる充実を図り、病病・病診連携を積極的に推進すること。
----------	---

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエイト	評価	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>① 福岡県医師会診療情報ネットワーク「とびうめネット」の活用について、周産期医療を担う地域の医療機関との連携に向けて課題となる事項について検討した。</p> <p>② 「福岡県小児等在宅医療推進事業」の拠点病院として、訪問看護ステーションのスタッフを対象とした急変時対応に関する実技を交えた研修会及び医療的ケア児に関わる多職種に対する褥瘡予防に関する研修会の実施や、退院前・退院後の患者宅への訪問による自宅の環境調整等を行った。</p> <p>また、福岡県等が実施する「小児慢性特定疾病児童等レスパイト支援事業」に引き続き参加し、医療的ケア児延べ18人のレスパイト入院を受け入れるとともに、利用家族及びケアを担当した看護師それぞれにアンケートを実施し、課題抽出を行った。</p> <p>③ 「福岡県母体搬送コーディネーター事業」の中核病院として、切迫早産や前期破水など新生児病床を必要とする母体搬送症例を積極的に受け入れた。</p> <p>④ 移行期支援外来（たけのこ外来）において、心臓疾患を有する患者（循環器科）に対し、クリニカルパスを活用した教育を行う等、移行期患者教育プログラムを着実に実施する取組を開始するとともに、腎疾患科及び内分泌・代謝科においても同様のクリニカルパスを作成し、移行期医療の体制整備を行った。</p> <p>● 前方連携の強化を目的として、登録医苑にニューズレターの発行（年4回：4・7・10・1月）を開始し、当院の取組や研修会等の案内を行った。</p>	2	4	4	<p>○ 「福岡県小児等在宅医療推進事業」の拠点病院、「小児慢性特定疾病児童等レスパイト支援事業」への参加、「福岡県母体搬送コーディネーター事業」の中核病院など、積極的に患者を受け入れて、地域の医療提供ネットワーク構築に貢献している。</p> <p>○ 一部の指標で目標値を下回ったものの、紹介率・逆紹介率、医療的ケア児のレスパイト入院の受入実績などは目標値、昨年度実績を上回っており、腎疾患科及び内分泌・代謝科で新たに移行期クリニカルパスを構築するなど、地域医療や医療連携に積極的に取り組んでおり、年度計画を上回って実践していると判断されるため、「評価4」とする。</p>

中期計画			年度計画		
【目標値】			【目標値】		
指標	福岡市立こども病院		指標	福岡市立こども病院	
	平成27年度 実績値	令和2年度 目標値		平成29年度 実績値	令和元年度 目標値
紹介率 (%)	78.4	80.0	紹介率 (%)	87.9	87.8
逆紹介率 (%)	50.2	46.0	逆紹介率 (%)	65.9	64.5
オープンカン ファレンス	回数 (回)	45	回数 (回)	46	45
	参加者数 (人)	1,713	参加者数 (人)	1,865	1,700
開放型病床への登録 医数 (人)	193	300	開放型病床への登録 医数 (人)	303	300
退院支援計画件数 (件)	150	200	退院支援計画件数 (件)	229	230

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)				自己評価		市長の評価	
				ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
【実績値】							
指標		福岡市立こども病院					
		平成30年度 実績値	令和元年度 実績値				
紹介率 (%)		87.8	94.8				
逆紹介率 (%)		65.5	68.7				
オープンカン ファレンス	回数 (回)	56	31				
	参加者数 (人)	1,915	1,362				
開放型病床への登録 医数 (人)		305	308				
退院支援計画件数 (件)		225	187				

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1 医療サービス (2) 地域医療への貢献と医療連携の推進</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 医療サービス</p> <p>(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進</p> <p>① 地域医療体制の中核を担う地域医療支援病院としての役割を踏まえ、かかりつけ医等の支援を通じて地域医療への貢献に取り組む。</p> <p>② 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、病病・病診連携を積極的に推進する。</p> <p>③ 福岡市立こども病院については、福岡県小児等在宅医療推進事業の拠点病院として、行政・医療・福祉・教育等の関係機関と連携を深め、小児在宅医療を担う在宅医や訪問看護ステーション等が拡充されるよう支援を行う等、地域における医療提供ネットワーク構築に積極的に参加する。</p> <p>④ 福岡市民病院については、地域包括ケアシステムにおいて急性期病院が担うべき役割として、地域の在宅医療を担う訪問看護ステーションやかかりつけ医等との積極的な連携、支援を行い、在宅復帰支援体制並びに緊急時の入院受入体制の強化を図る。</p>	<p>イ 福岡市民病院</p> <p>① 地域医療支援病院として、大型医療機器等の共同利用や入院患者への共同診療、地域の医療従事者に対するオープンカンファレンス等の研修会実施など、かかりつけ医等の支援について更なる充実を図る。</p> <p>② 「顔の見える連携」「断らない医療連携」を基本として、紹介患者への最適な医療を提供するとともに、急性期病院としての役割を明確にし、かかりつけ医や他の病院との連携体制の更なる充実を図る。</p> <p>③ 地域包括ケアシステムにおいては、在宅医療における基幹病院として、医師会をはじめ関係団体と連携し、緊急時の受入強化及び地域の医療従事者への積極的な支援を行う。また、平成30年度に創設した入退院支援室を中心に、多職種連携により入院前からの患者サポートの強化・充実を図るとともに、退院前カンファレンスによる在宅復帰支援の充実など、地域の介護施設や医療機関等との更なる連携強化を図る。</p>

中期目標(内容)	地域医療に貢献するため、地域の医療機関との連携・協力体制の更なる充実を図り、病病・病診連携を積極的に推進すること。
----------	---

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエイト	評価	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>イ 福岡市民病院</p> <p>① 市立病院及び地域医療支援病院としての役割を果たすため、紹介患者に対する医療の提供、医療機器の共同利用の推進、救急医療の提供及び地域の医療従事者に対する研修等の実施に取り組んだ。</p> <p>① 大型医療機器等の共同利用の推進に努めるとともに、救急受入体制の更なる強化を図った。</p> <p>また、地域の医療従事者に対して、福岡東部オープンカンファレンス、緩和ケア研修会等を実施した。さらに、ALS講習会など医療従事者向けの研修会や、地域住民への医療講演出張セミナー等の継続実施、他医療機関からの新人看護師の研修受入れ等を行った。</p> <p>② 紹介患者に対する医療の提供については、「顔の見える連携」「断らない連携」を基本とし、医師・MSW・看護師・事務職員が一体となり、積極的な訪問・案内を継続して実施した。これにより、初診紹介患者数は7,505人で平成30年度実績(7,257人)を上回った。</p> <p>② 脳卒中や大腿骨頸部骨折の病診・病病連携にあたっては、地域連携パス連絡会を開催するとともに、地域連携ワークショップへの参加や連携先医療機関等との情報交換(訪問・来訪)に努めた。</p> <p>脳卒中連携パスの使用については、福岡市内の急性期病院で最多となる281件の実績であった。</p> <p>③ 地域包括ケアシステムにおいては、博多区の基幹病院として、また、在宅医療に係る後方支援病院として、博多区医師会との連携のもと在宅患者の緊急時の積極的受入れや、訪問看護ステーション及び在宅医等とのカンファレンスの開催、在宅医療を担う医療従事者向け研修会の開催など継続して行った。</p> <p>③ 入退院支援体制の更なる充実を図るため、入退院支援室への多職種連携による入院前から</p>	2	4	4	<p>○ 地域医療支援病院として、かかりつけ医や地域の医療従事者に対する各種研修会の実施、在宅患者の緊急時の積極的な受入れなど地域の医療機関と連携強化を推進している。</p> <p>○ 一部の指標で目標値を下回っているものの、紹介率・逆紹介率は高水準で目標値を上回っており、福岡市内の急性期病院において脳卒中連携パスの使用実績が最多であり、院外看護師研修生も受け入れる「特定行為研修指定研修機関」として認定されるなど、地域医療や医療連携に積極的に取り組んでおり、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。</p>

中期計画				年度計画			
【目標値】				【目標値】			
指標		福岡市民病院		指標		福岡市民病院	
		平成27年度 実績値	令和2年度 目標値			平成29年度 実績値	令和元年度 目標値
紹介率 (%)		82.1	85.0	紹介率 (%)		86.5	88.0
逆紹介率 (%)		147.0	140.0	逆紹介率 (%)		151.2	150.0
オープンカン ファレンス	回数 (回)	83	70	オープンカン ファレンス	回数 (回)	78	70
	参加者数 (人)	1,477	1,400		参加者数 (人)	1,573	1,400
開放型病床への登 録医数 (人)		174	200	開放型病床への登 録医数 (人)		302	320
退院調整件数(件)		904	950	退院調整件数(件)		1,191	1,180



業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価																									
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																								
<p>の患者サポートの強化・充実を図るとともに、患者の円滑な受入れや急性期治療後の状態に応じた退院・転院調整に努めた。その結果、入退院支援加算1の算定件数は増加した。(30年度1,020件→元年度1,070件)</p> <p>【実績値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成30年度 実績値</th> <th>令和元年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率 (%)</td> <td>88.8</td> <td>88.7</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率 (%)</td> <td>153.2</td> <td>152.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">オープンカンファレンス</td> <td>回数 (回)</td> <td>98</td> <td>108</td> </tr> <tr> <td>参加者数 (人)</td> <td>1,545</td> <td>880</td> </tr> <tr> <td>開放型病床への登録医数(人)</td> <td>310</td> <td>311</td> </tr> <tr> <td>退院調整件数(件)</td> <td>1,200</td> <td>1,109</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ オープンカンファレンス等の令和元年度実績について、新型コロナウイルス感染症の影響により1月以降の各種研修会等を中止としたため、院外参加者数は大きく減少した。</p>	指標	福岡市民病院		平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	紹介率 (%)	88.8	88.7	逆紹介率 (%)	153.2	152.3	オープンカンファレンス	回数 (回)	98	108	参加者数 (人)	1,545	880	開放型病床への登録医数(人)	310	311	退院調整件数(件)	1,200	1,109				
指標		福岡市民病院																										
	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値																										
紹介率 (%)	88.8	88.7																										
逆紹介率 (%)	153.2	152.3																										
オープンカンファレンス	回数 (回)	98	108																									
	参加者数 (人)	1,545	880																									
開放型病床への登録医数(人)	310	311																										
退院調整件数(件)	1,200	1,109																										

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>1 医療サービス (3) 災害時等の迅速かつ的確な対応</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 医療サービス</p> <p>(3) 災害時等の対応</p> <p>① 災害発生時やその他の緊急時においては、福岡市地域防災計画、各種感染症の対策行動計画を始め、院内のBCP(事業継続計画)等に基づき、福岡市及び関係機関との連携の下、患者の受入や医療従事者の派遣など迅速かつ的確に対応し、市立病院としての役割を果たす。</p> <p>② 防災対策の点検や必要物品等の備蓄確認等を徹底し、災害対応に備えた万全な体制を維持する。</p> <p>③ 他の自治体等において大規模災害が発生した場合は、関係機関や被災した医療機関等との連携を図るなどの的確に医療救護活動の支援に努める。</p>	<p>(3) 災害時等の対応</p> <p>① 市立病院としての役割を果たすため、福岡市地域防災計画、各種感染症の対策行動計画を始め、院内の事業継続計画(BCP)等に基づく適切な対応が行えるよう、各種災害時マニュアルの周知や防災訓練の実施等を通じ、職員の危機管理能力を高める。</p> <p>② 非常用発電設備及び備蓄物品等の点検を徹底し、災害発生時の万全な対応に備える。</p> <p>③ 他の自治体において大規模災害が発生した場合は、関係機関や被災した医療機関等との連携を図るなど、的確に医療救護活動の支援に努める。</p> <p>こども病院においては、福岡市医師会が行う大規模災害時の対策と小児医療支援活動の取組に参加するとともに、平時より迅速な被災地支援ができるよう、福岡県広域災害・救急医療情報システムや、全国の災害時小児周産期リエゾンと連携し、情報共有体制の維持に努めるほか、全国の小児総合医療施設間で組織された「広域災害時の相互支援システム」における九州地区の幹事施設として、衛星電話の活用等により連携を図る。</p> <p>また、福岡市民病院においては、平成28年1月に締結した福岡県内の自治体病院間における災害時相互応援協定の事務局としての役割を適切に果たす。</p>

中期目標(内容)	<p>災害発生時やその他の緊急時において、福岡市地域防災計画、各種感染症の対策行動計画等に基づき、市立病院として迅速かつ的確に対応すること。</p> <p>また、他の自治体等において大規模災害が発生した場合は、関係機関や被災した医療機関等との連携を図るなどの確に医療救護活動の支援に努めること。</p>
----------	---

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>①② 市立病院としての役割を果たすため、災害発生に備え、消防計画に基づく総合防災訓練や避難誘導訓練等を適宜実施し、職員の防災意識及び対応力を高めるとともに、非常用発電設備及び備蓄物品の点検等を徹底した。</p> <p>③ こども病院においては、院内の事業継続計画（BCP）に基づく適切な対応が行えるよう、2月に大規模災害を想定した救急受入訓練を実施するとともに、福岡市医師会の救急・災害医療対策委員会のワーキンググループに参加し、大規模災害時の医療救護対策の検討とマニュアル作成の取組に参加した。</p> <p>また、全国の小児総合医療施設間で組織された「広域災害時の相互支援システム」における九州地区の幹事施設として、衛星電話の活用等により引き続き連携を図った。</p> <p>福岡市民病院においては、福岡県内の自治体病院間における災害時相互応援協定を締結して体制を整えているほか、新たに災害時事業継続計画を策定した。</p> <p>また、11月の福岡市市民総合防災訓練（博多区会場）に参加し、災害避難時におけるエコノミークラス症候群の予防講座及び感染症予防のための手指消毒講座を実施するとともに、同月に博多区保健福祉センター、博多消防署及び福岡検疫所との合同により、新型インフルエンザ等対策にかかる机上・実働訓練を実施し、新型インフルエンザ等の感染症発生時における対応能力の向上を図った。</p> <p>● 新型コロナウイルス感染症の流行に際して、事業継続計画（BCP）を踏まえながら、福岡市との連携のもと、こども病院においては、院内の感染対策室やICT（感染対策チーム）を中心に、福岡市民病院においては、院内に新型コロナウイルス対策本部を設置して疑似症患者の受入れ体制をいち早く整えるとともに、保健所や他の感染症指定医療機関と連携し、適切に対応した。</p>	2	4	4	<p>○ 両病院において、災害発生等に備えた訓練の実施や設備・物品の点検の徹底が図られたほか、大規模災害に備えて、他地域の医療機関と協定に基づく相互応援体制構築に努めている。</p> <p>○ 福岡市民病院においては、新たに災害時事業継続計画を策定するとともに、両病院とも新型コロナウイルス感染症の流行に際して、患者増加を見込み、受入体制を整えるなど、迅速かつ的確に取り組んでおり、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。</p>

中期計画	年度計画

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウ エ イ ト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>また、県内のコロナウイルス感染患者数の増加に伴い、県内の指定感染症病床が不足すると見込まれるため、こども病院の陰圧設備が整備された病床の一部を使用する方向で検討するとともに、マスク等の防護具や消毒液等の物品の確保に努めた。</p> <p>一方、職員に対しては、新型コロナウイルス感染症に関する理解を深めるための研修や、感染が疑われる患者への対応訓練を適宜実施するなど、徹底した院内感染防止に取り組んだ。</p>				

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>2 患者サービス (1) 患者サービスの向上</p>
----------	---

中期計画	年度計画
<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 患者サービス</p> <p>(1) 患者サービスの向上</p> <p>① 患者満足度調査等を実施し、患者のニーズを的確に捉えた上で、より一層の患者サービスの向上を図る。</p> <p>② 患者やその家族が安心して医療を享受できるよう、社会的、経済的悩みや不安等に適切に対応する。</p> <p>③ 院内環境の整備を進め、より快適な療養環境を提供する。</p> <p>④ ボランティアとの連携などにより、市民・患者の視点に立った患者サービスの向上に努める。</p>	<p>2 患者サービス</p> <p>(1) 患者サービスの向上</p> <p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>① 退院時アンケートやホームページからの患者・家族からの意見等を踏まえ、院内の接遇・療養環境委員会及びサービス向上ワーキンググループを中心に、関係部署とも協議しながら、院内環境の整備を推進し、より快適な療養環境を提供する。</p> <p>② 登録医検索機能の活用や、サイネージを使用してニュース等を放映するなど、院内インフォメーションサービスを充実し、患者・家族の利便性向上を図る。</p> <p>③ 患者・家族の療養環境改善を図るため、福岡市が推進する「一人一花運動」の趣旨に沿って、花壇等の充実を図る。</p> <p>④ 平成30年度に新たに配置したボランティアコーディネーターを中心に、患者・家族のニーズに応じた活動を実施するとともに、感染や安全面等に関する研修を開催するなど、ボランティアとの共働に向け更なる活動支援・連携強化を図る。</p> <p>⑤ 患児家族滞在施設(ふくおかハウス)について、満室により利用をお断りする事例が発生している状況を改善するため、現在の16室から21室へ増室を行う。</p> <p>⑥ 外国人支援通訳サポーター登録制度の登録ボランティア数の拡大により、外国人患者への対応の強化を図る。</p> <p>⑦ 入院時オリエンテーションにおいて、患者・家族の理解度の向上と説明内容の標準化を図るため、タブレット端末を導入する。</p>

中期目標(内容)	<p>選ばれる病院であり続けるため、患者のニーズを的確に捉えながら院内環境の整備を進めるほか、ボランティアとの連携を図ることなどにより、市民・患者の視点に立った患者サービスの向上に努めること。</p>
----------	--

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>① 退院時アンケートやホームページからの患者・家族からの意見等を踏まえ、サービス向上WGが中心となって、対応可能な案件について迅速に対処・実行し、院内環境の整備ならびに患者サービスの向上に努めるとともに、対応状況等を院内へ掲示した。</p> <p>② 外来にインフォメーションボード「病院ナビタ」を設置し、登録医検索機能やデジタルサイネージを使用した情報発信を行うなど、院内インフォメーションサービスを充実し、患者・家族の利便性向上を図った。</p> <p>③ 患者・家族の療養環境改善を図るため、福岡市が推進する「一人一花運動」の趣旨に沿って、1年を通じて花が咲くよう季節毎に花の植え替えを行い、花壇の充実を図った。</p> <p>④ 各種プロスポーツ選手による病棟訪問やプレゼント配付、院内コンサートの受入れ等を積極的に行い、患者及び患者家族へのサービスの向上に努めた。</p> <p>④ ボランティアについては、ボランティアコーディネーターを中心に、患者・家族に対する多彩な活動が行われるとともに、感染や安全面等に関する研修の開催や活動実績に対する表彰を行うなど、ボランティアとの共働に向けた活動支援・連携強化を行った。</p> <p>⑤ 患児家族滞在施設（ふくおかハウス）については、満室のため利用をお断りする事例が発生していたことから、9月に5室増室（16室→21室）し、施設環境の整備を行うなど、施設の円滑な運営ができるよう協力を行い、利用申し込みに対する利用率（利用家族数÷利用申し込み数）が91.6%（前年度：86.9%）に向上した。</p> <p>⑥ 外国人支援通訳サポーター登録制度の登録ボランティアを1名増員し、外国人患者への対応の強化を図った。</p> <p>⑦ 入院時オリエンテーションにおいて、患者・家族の理解度の向上と説明内容の標準化並びに看護師の負担軽減を図るため、タブレット端末上で必要情報を閲覧できる「デジタルブック」を病棟毎に作成・設置した。</p> <p>● 外来の案内サイン等について、外来改善チームを中心にデザインの見直しを行い、患者・家族によりわかりやすいものに改善を行った。</p>	2	3	3	<p>○ 退院時アンケート等の意見を踏まえ、院内環境を整備したほか、「一人一花運動」による花壇の充実、外国人支援通訳サポーター登録ボランティアの増員、患児家族滞在施設（ふくおかハウス）の増室など、患者サービスの向上に取り組んでおり、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>

中期計画			年度計画		
【目標値】			【目標値】		
指標	福岡市立こども病院		指標	福岡市立こども病院	
	平成27年度 実績値	令和2年度 目標値		平成29年度 実績値	令和元年度 目標値
退院時アンケート の平均評価点数 (100点満点)	88.0	88.0	退院時アンケート の平均評価点数 (100点満点)	88.8	88.8
※対象者・・・入院患者 ※評価項目・・・接遇，療養環境，食事内容等			※対象者・・・入院患者 ※評価項目・・・接遇，療養環境，食事内容等		



業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価									
	ウ エ イ ト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど								
<p>【実績値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>平成30年度 実績値</th> <th>令和元年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退院時アンケート の平均評価点数 (100点満点)</td> <td>88.8</td> <td>89.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※対象者・・・入院患者 ※評価項目・・・接遇, 療養環境, 食事内容等</p>	指標	福岡市立こども病院		平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	退院時アンケート の平均評価点数 (100点満点)	88.8	89.0				
指標		福岡市立こども病院										
	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値										
退院時アンケート の平均評価点数 (100点満点)	88.8	89.0										

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>2 患者サービス (1) 患者サービスの向上</p>
----------	---

中期計画	年度計画																
<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 患者サービス</p> <p>(1) 患者サービスの向上</p> <p>① 患者満足度調査等を実施し、患者のニーズを的確に捉えた上で、より一層の患者サービスの向上を図る。</p> <p>② 患者やその家族が安心して医療を享受できるよう、社会的、経済的悩みや不安等に適切に対応する。</p> <p>③ 院内環境の整備を進め、より快適な療養環境を提供する。</p> <p>④ ボランティアとの連携などにより、市民・患者の視点に立った患者サービスの向上に努める。</p> <p><b>【目標値】</b></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成27年度実績値</th> <th>令和2年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者満足度調査における平均評価点数(100点満点)</td> <td style="text-align: center;">90.1</td> <td style="text-align: center;">88.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※対象者・・・入院患者            ※評価項目・・・接遇, 療養環境, 食事内容等</p>	指標	福岡市民病院		平成27年度実績値	令和2年度目標値	患者満足度調査における平均評価点数(100点満点)	90.1	88.0	<p>イ 福岡市民病院</p> <p>① 職員の接遇及び療養環境等に関する患者満足度調査や外来待ち時間調査等を実施し、患者のニーズを的確に把握し、改善を図る。</p> <p>② 患者またはその家族等からの医療・福祉に関する相談などについて、患者サポート相談窓口を中心に適切に対応する。</p> <p>③ 平成29年度に策定した中長期修繕計画に基づき、病室の天井・壁・床面の段階的な改修を行うなど、療養環境の整備に努める。</p> <p>④ 大学サークル・市民団体等と交渉し、定期的に院内コンサート等を実施するとともに、患者の手助けなどを行う院内ボランティア(現在2名)を幅広く募集するなど、登録者の拡大を図る。</p> <p><b>【目標値】</b></p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成29年度実績値</th> <th>令和元年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者満足度調査における平均評価点数(100点満点)</td> <td style="text-align: center;">90.1</td> <td style="text-align: center;">89.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※対象者・・・入院患者            ※評価項目・・・接遇, 療養環境, 食事内容, 診療内容等</p>	指標	福岡市民病院		平成29年度実績値	令和元年度目標値	患者満足度調査における平均評価点数(100点満点)	90.1	89.5
指標		福岡市民病院															
	平成27年度実績値	令和2年度目標値															
患者満足度調査における平均評価点数(100点満点)	90.1	88.0															
指標	福岡市民病院																
	平成29年度実績値	令和元年度目標値															
患者満足度調査における平均評価点数(100点満点)	90.1	89.5															

中期目標(内容)	選ばれる病院であり続けるため、患者のニーズを的確に捉えながら院内環境の整備を進めるほか、ボランティアとの連携を図ることなどにより、市民・患者の視点に立った患者サービスの向上に努めること。
----------	---

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価									
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど								
<p>イ 福岡市民病院</p> <p>① 患者満足度調査を毎月実施し、患者のニーズを把握し、改善を図った。また、患者サポート相談窓口での対応分をCS (Customer Satisfaction) 委員会に報告し、情報を共有した。</p> <p>② 患者またはその家族等からの医療・福祉に関する相談などについて、患者サポート相談窓口を中心に適切に対応した。</p> <p>③ 7月に床頭台(テレビ・冷蔵庫付)の全面更新を行うとともに、11月に特別病室及び個室に設置しているソファの更新を行う等、院内環境の整備を行った。</p> <p>④ 大学のコーラスグループ等の協力により、院内コンサートを定期的実施したほか、毎月1回、ボランティアの協力を得て、花の植え替え等花壇の手入れ作業を行った。</p> <p>④ 院内ボランティア(登録者2人)による外来での患者のお世話、入院患者の話し相手、認知症患者の見守り等、患者とのふれあいを大切に活動により、患者視点のきめ細やかな患者サービスの提供が図られた。</p> <p><b>【実績値】</b></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">指標</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">平成30年度 実績値</th> <th style="text-align: center;">令和元年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">患者満足度調査における平均評価点数(100点満点)</td> <td style="text-align: center;">89.6</td> <td style="text-align: center;">89.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>※対象者・・・入院患者            ※評価項目・・・接遇、療養環境、食事内容、診療内容等</p>	指標	福岡市民病院		平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	患者満足度調査における平均評価点数(100点満点)	89.6	89.6	2	3	3	<p>○ 患者満足度調査により患者ニーズを把握し、療養環境改善等を図ったほか、床頭台の全面更新、院内コンサートの定期開催など、患者サービスの向上に取り組んでおり、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>
指標		福岡市民病院										
	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値										
患者満足度調査における平均評価点数(100点満点)	89.6	89.6										

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>2 患者サービス (2) 情報発信</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 患者サービス</p> <p>(2) 情報発信</p> <p>ホームページや広報誌の発行等を通じて、病院のもつ機能や治療実績等、積極的な情報発信に取り組むとともに、安心して受診できるように、市民に開かれた病院づくりに努める。</p>	<p>(2) 情報発信</p> <p>① 診療内容、医療サービスや、「病院指標(独自指標を含む)」に示される治療実績などについて、診療情報誌やホームページ等を活用してわかりやすい情報発信に取り組むとともに、患者が安心して受診できるよう、更なるツールの拡大等、市民に開かれた病院づくりに努める。</p> <p>② 院内における掲示や広報物等について、視認性の向上や集約化等による効果的な情報発信に努める。</p> <p>③ こども病院においては、平成30年度に設置した外来のデジタルサイネージについて、引き続きコンテンツの工夫等を行い、効果的な情報発信に努める。</p> <p>また、参加・体験型イベント「こども病院フェスタ」の開催を通じて、更なる認知度の向上を図る。</p> <p>さらに、地域の子育て世代や、元気な高齢者を対象に、多世代の交流や医療を通じて子育て・孫育てを実現することを目的に、CGG (Child Grandchild Good-Care) プログラムを年2回開催する。</p> <p>④ 市民病院においては、多職種連携による「広報戦略会議」を設置し、患者や地域の医療機関にとって分かりやすい効果的かつ戦略的な広報活動を展開する。</p>

中期目標(内容)	ホームページや広報誌等により，病院の役割や医療内容等を積極的に情報発信するなど，市民に開かれた病院づくりに努めること。
----------	---

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>①② 市民や医療関係者等に対して最新の病院情報を発信するとともに、「病院指標」をホームページに公開し，一般の人にも分かり易い解説に努めた。また，こども病院においては，患者用パス公開による治療内容の可視化を図り，患者中心の医療の実践に努め，福岡市民病院においては，「病院指標」に加え，日本病院会「Q Iプロジェクト」及び当院独自に設定した臨床指標（31項目）の情報を更新するとともに，患者用クリニカルパスの公開を行い，患者が安心して受診できる情報発信に取り組んだ。</p> <p>③ こども病院においては，市民や医療関係者が当院への理解や健康への関心を高めることを目的に，SNSを活用した幅広い情報をリアルタイムに発信するとともに，外来に設置にしたデジタルサイネージについては，広報物を集約化するなどコンテンツを工夫し，効果的・積極的な情報発信に努めた。</p> <p>また，参加・体験型イベント「こども病院フェスタ」を開催し，約2,000人の来場者を得るなど，更なる認知度の向上を図った。</p> <p>さらに，地域住民を対象に，育児への関心を高めるための取組として，こども病院生涯学習講座CGG（Child Grandchild Good-Care）プログラムを2回開催した。（7月：テーマ「救急対応」，2月：テーマ「アレルギー」）</p> <p>④ 多職種連携による「広報戦略委員会」を設置し，患者向けの病院案内パンフレットのリニューアル，広告掲載に関するガイドラインの策定等に取り組むとともに，外来フロアのデジタルサイネージを全面的に見直し，インフォメーションボードを設置して視覚的な情報発信を強化した。</p>	1	3	3	○ 両病院において，市民に対する「病院指標」や「患者用クリニカルパス」のホームページ公開，院内のデジタルサイネージを活用した情報発信を行うとともに，福岡市立こども病院ではSNS活用や「こども病院フェスタ」の開催，福岡市民病院では案内パンフレットのリニューアルなど，市民に開かれた病院づくりに取り組んでおり，年度計画を順調に実施していると判断されるため，「評価3」とする。

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>3 医療の質の向上 (1) 病院スタッフの確保と教育・研修</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>3 医療の質の向上</p> <p>(1) 病院スタッフの確保と教育・研修</p> <p>① 魅力的な職場づくりを推進し、優れた人材の確保に努める。</p> <p>② 院内研修の充実や外部の専門研修等を活用し、職員の資質向上を図る。</p> <p>③ 積極的に職員に資格取得を奨励し、専門職としての知識・技術の向上を図る。また、資格取得を支援する制度の充実に努める。</p>	<p>3 医療の質の向上</p> <p>(1) 病院スタッフの確保と教育・研修</p> <p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>① 看護師については、意欲ある人材を確保するため、看護学生等への看護体験や病院見学を通じて積極的に病院のPRを行うとともに、教育プログラムに基づき、専従教育担当職員による新人看護職員等への研修を重点的に実施するなど、職員の資質向上に努める。</p> <p>② 年休の取得率向上や時間外勤務の縮減など職員のワーク・ライフ・バランスに取り組み、魅力的な職場づくりを推進し、優れた人材の確保に努める。</p> <p>③ 新規採用職員を対象とした情報セキュリティや人権、接遇などの研修の開催をはじめ、各種院内研修について、外部講師の活用などで内容の充実を図り、受講促進に努める。</p> <p>④ スタッフの専門性や医療技術の向上を図るため、職員の資格取得を積極的に奨励するとともに、看護師については、認定看護師等資格取得支援制度の活用を促し、有資格者の拡大を図る。</p> <p>⑤ 意欲ある研修医等の確保を目的として、ソーシャルネットワークサービスを活用し、カンファレンスや研修会、教育プログラム等の情報発信に努める。</p> <p>⑥ 熱帯感染症等の診断と治療を実践的に学ぶため、タイ王国の大学へ医師等を派遣する熱帯医学短期研修を実施する。</p>

中期目標(内容)	医療水準を向上させるため、医師や看護師を始め、優れた人材の確保に努めること。 また、研修体制の充実などにより、スタッフの専門性や医療技術の向上を図ること。
----------	--

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウェイト	評価	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>① 意欲ある人材を確保するため、看護学生等を対象とした「インターンシップ・病院説明会」を4回開催し、71人(新型コロナウイルス感染症対策のため3回中止。前年度：11回開催225人)を受け入れるとともに、大学での説明会(1回41名参加)を行った。看護学実習生については、10校13課程490人(前年度：8校13課程444人)を受け入れるなど、当院に就職を希望する学生の確保に努めた。</p> <p>また、専従教育担当職員が中心となり、新人看護職員、新任期看護職員等を対象とした研修を計画的に開催し、看護職員の資質向上に努めた。</p> <p>さらに、他施設に従事する新人看護職員を対象に小児看護研修を2回開催し、延べ68人(前年度：2回開催、延べ61人)の参加を得るなど、小児専門病院としての役割遂行に努めた。</p> <p>② 働き方改革への取組として、年休の年間5日間取得の徹底や時間外勤務を縮減するなど職員の負担軽減を図った。</p> <p>③ 職員の資質向上を図るため、ハラスメントの研修や外部研修への派遣を行ったほか、委託業務職員に対して、病院理念・基本方針等に関する研修会を行った。</p> <p>④ 看護師について、専門職としての知識・技術の向上を図るため、認定看護師等育成支援計画に基づき、資格取得の支援を行った。</p> <p>【資格取得】 小児看護専門看護師1人</p> <p>【受講終了】 認定看護師(感染管理)1人</p> <p>⑤ 意欲ある研修医等の確保を目的として、SNSを活用した情報発信に努め、初期研修医や医学部学生を対象とした病院見学会を7月に開催した。</p> <p>⑥ 熱帯感染症等の診断と治療を実践的に学ぶため、9月にタイ王国の大学が主催する熱帯医学短期研修へ医師3名を派遣し、医療技術の向上を図った。</p>	2	4	4	<p>○ 看護実習生の受入れ、研修医や医学部学生を対象とした病院見学会開催などの人材確保に向けた取組、新人看護師への計画的な研修の実施、認定看護師等育成支援計画による資格取得者の支援など人材育成を推進している。</p> <p>○ タイ王国の大学が主催する熱帯医学短期研修への医師の派遣、委託業務職員に対する研修会開催などスタッフの専門性や医療技術の向上などに積極的に取り組んでおり、年度計画を上回り実施していると判断されるため、「評価4」とする。</p>

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>3 医療の質の向上 (1) 病院スタッフの確保と教育・研修</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>3 医療の質の向上</p> <p>(1) 病院スタッフの確保と教育・研修</p> <p>① 魅力的な職場づくりを推進し、優れた人材の確保に努める。</p> <p>② 院内研修の充実や外部の専門研修等を活用し、職員の資質向上を図る。</p> <p>③ 積極的に職員に資格取得を奨励し、専門職としての知識・技術の向上を図る。また、資格取得を支援する制度の充実に努める。</p>	<p>イ 福岡市民病院</p> <p>① 医師、看護師を始め職種毎の定数管理を確実にを行い、職員の適正数の確保に努める。</p> <p>② 医師事務作業補助者の増員及び特定行為看護師の育成によるタスクシフティングを進める等、「医師の働き方改革」への対応をはじめ、ワーク・ライフ・バランスの推進に継続的に取り組み、年休の取得率向上や時間外勤務の縮減に努め、職員が働きやすい職場環境づくりを推進し、優れた人材の確保に努める</p> <p>③ 新規採用職員を対象とした情報セキュリティや人権、接遇研修のほか、全職員を対象とした医療安全管理体制確保、院内感染対策、保険診療に関する研修等を実施するなど、院内研修の充実を図るとともに、外部の専門研修等も活用しながら職員の資質向上を図る。</p> <p>④ 看護部においては、認定看護師等資格取得支援制度を活用した積極的な資格取得を奨励し、専門職としての知識・技術の向上を図る。 また、看護部以外の部門においても、専門職としての知識・技術の向上を図るため、資格取得支援制度の充実に努める。</p> <p>⑤ 臨床研修医や新専門医制度における専攻医の養成、各種専門や認定資格の取得促進、特定行為に係る看護師の研修、その他職員の人材育成について総合的に取り組むことを目的として、「教育研修支援センター」を設置する。</p>



中期目標(内容)	医療水準を向上させるため、医師や看護師を始め、優れた人材の確保に努めること。 また、研修体制の充実などにより、スタッフの専門性や医療技術の向上を図ること。
----------	--

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウ エ イ ト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
イ 福岡市民病院 ① 看護師について7対1看護基準を維持するとともに、職員の育児休業等による欠員に対して、代替職員の採用を適宜行うなど職種毎の定数管理を確実に行った。 また、意欲ある人材を確保するため、看護学校実習生を432人(延2,132人)受け入れるとともに、就職希望者に対する病院見学会を6回開催した(参加者:138人)。 ② 医師事務作業補助者の増員及び特定行為看護師の育成等により「医師の働き方改革」を進めるとともに、院内のワーク・ライフ・バランス推進委員会において、引き続き、年休の取得率向上に取り組むなど、職員が長く働き続けられる職場環境づくりを推進した。 (看護職員離職率30年度7.8%→元年度4.2%) ③ 新規採用職員を対象として、情報セキュリティ、人権及び接遇について研修を実施するとともに、全職員を対象として、医療安全管理体制確保、院内感染対策、保険診療に係る研修、BLS研修等の教育研修を実施するなど、院内研修の充実を図った。 ④ 専門職としての知識・技術の向上を図るため、認定看護師等資格取得支援制度の活用を促進し、各種資格取得等が図られた。特定行為研修についても、1人(呼吸器関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連)の受講が修了した。 <b>【資格取得】</b> ・皮膚・排泄ケア認定看護師1人 ・集中ケア認定看護師1人 <b>【教育課程修了】</b> ・皮膚・排泄ケア認定看護師1人 <b>【特定行為研修修了】</b> ・「呼吸器(長期呼吸器療法に係るもの)関連」及び「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」1人 ⑤ 新たに「教育研修支援委員会」を設置し、看護師の特定行為に係る指定研修機関の指定を受けるための取組を進め、令和2年2月に厚労省より指定を受け、4月より開講の予定で準備を進めた。	2	4	4	○ 看護実習生の受入れ、病院見学会開催などの人材確保に向けた取組、医療安全体制や院内感染対策など計画的な研修の実施、認定看護師等育成支援計画による資格取得の支援など人材育成を推進している。 ○ 職員が長く働き続けられる職場環境づくりの推進により看護職員の離職率を減少させ、看護師の特定行為に係る「特定行為研修指定研修機関」の指定を受けるなど、病院スタッフの確保及び資質向上に積極的に取り組んでおり、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>3 医療の質の向上 (2) 信頼される医療の実践</p>
----------	---

中期計画	年度計画
<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>3 医療の質の向上</p> <p>(2) 信頼される医療の実践</p> <p>① 院内感染防止マニュアルの整備や定期的な院内感染対策委員会の開催などによる院内感染防止対策を徹底するとともに、医療安全管理者を中心としたリスクマネジメントや医療従事者への教育・研修を実施するなど、医療安全対策の徹底を図る。</p> <p>② クリニカルパスを活用した治療内容の可視化や十分な説明に基づくインフォームド・コンセント/アセントの徹底を図り、患者中心の医療を実践する。</p> <p>③ 薬剤師による薬剤管理指導や管理栄養士による栄養食事指導・相談を充実させ、安全・安心な医療を提供する。</p>	<p>(2) 信頼される医療の実践</p> <p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>① 日本小児総合医療施設協議会における臨床評価指標事業に参加し、小児医療の質の向上に取り組む。</p> <p>② 感染対策室、院内感染対策委員会及び感染制御チーム（ICT）の連携により、院内感染防止対策を徹底する。 また、医療安全管理者を中心としたTeamS T E P P Sの推進によるリスクマネジメントや、医療従事者への教育・研修を実施するなど、医療安全対策の徹底を図る。</p> <p>③ クリニカルパスの充実により、ケアの標準化、均質化を図り、医療の質の向上に努めるとともに、その活用による治療内容の可視化や十分な説明に基づくインフォームド・コンセント/アセントの徹底を図り、患者中心の医療を実践する。</p> <p>④ 薬剤師による薬剤管理指導や管理栄養士による栄養食事指導・相談を充実させるとともに、多職種による栄養サポートチーム（NST）により栄養管理の充実を図り、安全・安心な医療を提供する。</p> <p>⑤ PICUをはじめとする集中治療系病棟の安全性の向上及び医師・看護師の負担軽減を図るため、病棟薬剤師の配置拡大や、臨床工学部と病棟との連携体制の強化を図る。</p> <p>⑥ 入院中の患者の健やかな発達をサポートするため、歯科衛生士・保育士・管理栄養士による「歯育・保育・食育教室」を継続するとともに、1型糖尿病の患者に対して食事療養を支援するための「糖尿病教室」を継続する。</p> <p>⑦ 平成30年度に立ち上げた「手順共通化プロジェクトチーム」において、診療科や部署によって異なる指示等の差異を可能な限り共通化していくことで、医療安全の推進並びに業務の効率化を図る。</p>

中期目標(内容)	<p>市民に信頼される安全・安心な医療を提供するため、院内感染防止対策を確実に実施するとともに、医療事故に関する情報の収集・分析に努め、医療安全対策の徹底を図ること。</p> <p>また、患者が自ら受ける医療の内容を理解し、納得の上で自分に合った治療法を選択できるよう、十分な説明に基づくインフォームド・コンセントを徹底するなど、患者中心の医療を実践すること。</p>
----------	--

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>① 昨年度に引き続き、小児医療の質の向上のため、日本小児総合医療施設協議会（JACHRI）における臨床評価指標事業に参加し、全国のこども病院と連携して、小児医療特有の「臨床指標」の策定に取り組んだ。</p> <p>② 感染防止対策の強化のため、専従の感染管理認定看護師を配置した感染対策室、院内感染対策委員会及び感染制御チーム（ICT）の連携を推進するとともに、地域の他医療機関との合同カンファレンスの開催や相互サーベイランスの実施などに取り組んだ。</p> <p>また、医療安全管理室による、リスクマネジメントや医療従事者への教育を目的としたTeam STEPPS推進の研修会を、全員向けに延べ58回実施し、医療安全対策の強化を図った。</p> <p>③ 職員向け院内クリニカルパス大会を2回開催するなど、クリニカルパス委員会を中心とした普及・啓発活動により、クリニカルパスの数は30年度から3種類（3疾患）増加し39種類（45疾患）となり、退院患者に占めるクリニカルパスの使用率が38%となるなど、ケアの標準化、均質化による医療の質の向上に寄与した。</p> <p>④ 薬剤師による薬剤管理指導については、退院後の薬剤服用に関する指導を積極的に実施するなど、指導内容の充実を図った。</p> <p>また、管理栄養士による栄養食事指導・相談については、主治医や病棟看護師と連携しながら適切に実施するとともに、多職種による栄養サポートチーム（NST）により栄養管理の充実を図り、安全・安心な医療を提供した。</p> <p>⑤ NICUへの病棟薬剤師の配置や、臨床工学部による人工呼吸器管理に係る院内ラウンド及び在宅移行支援を実施するなど、病棟の安全性の向上及び医師・看護師の負担軽減を図った。</p>	2	4	4	<p>○ 院内感染防止対策の徹底、医療安全対策の強化による医療の質の向上など、患者を中心とした、安心・安全な医療の提供に取り組んでいる。</p> <p>○ 新たにNICUへの病棟薬剤師配置、全職員に対するTeam STEPPS推進の研修会の開催、クリニカルパスの対象科数増加など医療安全対策に積極的に取り組んでおり、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。</p>

中期計画			年度計画		
【目標値】			【目標値】		
指標	福岡市立こども病院		指標	福岡市立こども病院	
	平成27年度 実績値	令和2年度 目標値		平成29年度 実績値	令和元年度 目標値
薬剤管理指導件数 (件)	5,803	9,100	薬剤管理指導件数 (件)	7,592	6,200
栄養食事指導・相 談件数 (件)	476	650	栄養食事指導・相 談件数 (件)	1,042	1,200

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価												
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど											
<p>⑥ 「歯育・保育・食育教室」を5回開催（患児・家族延べ28組参加）したほか、「糖尿病教室」を開催（患児・家族延べ27組参加）し、患児の健やかな発達をサポートする活動に継続的に取り組んだ。</p> <p>⑦ 医療安全の推進並びに業務の効率化を図るため、前年度立ち上げた「手順共通化プロジェクトチーム」において、診療科や部署によって異なる指示等の共通化について引き続き検討を行い、また、鎮静薬の希釈方法、MRIチェックリスト及び造影CT説明手順について共通化を行った。</p> <p>【実績値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>平成30年度 実績値</th> <th>令和元年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤管理指導件数 (件)</td> <td>5,650</td> <td>4,929</td> </tr> <tr> <td>栄養食事指導・相談 件数(件)</td> <td>1,457</td> <td>1,412</td> </tr> </tbody> </table>	指標	福岡市立こども病院		平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	薬剤管理指導件数 (件)	5,650	4,929	栄養食事指導・相談 件数(件)	1,457	1,412				
指標		福岡市立こども病院													
	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値													
薬剤管理指導件数 (件)	5,650	4,929													
栄養食事指導・相談 件数(件)	1,457	1,412													

中期目標(項目)	<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項</p> <p>3 医療の質の向上 (2) 信頼される医療の実践</p>
----------	---

中期計画	年度計画
<p>第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>3 医療の質の向上</p> <p>(2) 信頼される医療の実践</p> <p>① 院内感染防止マニュアルの整備や定期的な院内感染対策委員会の開催などによる院内感染防止対策を徹底するとともに、医療安全管理者を中心としたリスクマネジメントや医療従事者への教育・研修を実施するなど、医療安全対策の徹底を図る。</p> <p>② クリニカルパスを活用した治療内容の可視化や十分な説明に基づくインフォームド・コンセント/アセントの徹底を図り、患者中心の医療を実践する。</p> <p>③ 薬剤師による薬剤管理指導や管理栄養士による栄養食事指導・相談を充実させ、安全・安心な医療を提供する。</p>	<p>イ 福岡市民病院</p> <p>① 院内感染対策委員会及び感染制御チーム(ICT)の連携により、院内感染防止対策を徹底するとともに、他施設への感染専門医によるコンサルタント及び当院チームとの情報交換等を通じ更なる改善を図る。</p> <p>② 医療安全管理者を中心としたリスクマネジメントや医療従事者への教育・研修を実施するとともに、平成30年度に開始した他施設との医療安全相互チェックに取り組み、医療安全対策の徹底を図る。</p> <p>③ クリニカルパスの充実により、ケアの標準化・均質化並びに医療の質の向上に努める。また、患者用パスの病院ホームページへの公開による治療内容の可視化や、インフォームド・コンセントの徹底を図り、患者中心の医療を実践する。</p> <p>④ 薬剤師による各種監査、病棟の薬品管理、服薬指導等を行い、安全管理体制の徹底に努める。また、管理栄養士による栄養食事指導、栄養サポートチーム(NSIT)による栄養管理の充実を図る。</p> <p>⑤ 日本病院会主催のQIプロジェクト等への参加を継続するとともに、病院独自の臨床指標策定や見直しを行い、ベンチマークによる比較評価や経時的なデータ推移の分析等を通じて医療の質の向上を図ることを目的として、多職種によるQMC(Quality in Medical Care)チームを設置する。</p> <p>⑥ 病院機能評価3rdG:Ver2.0を受審し、現在の医療提供体制について改めて見直すことにより、安全・安心で、より質の高い医療を提供できる体制を整備する。</p>

中期目標(内容)	<p>市民に信頼される安全・安心な医療を提供するため、院内感染防止対策を確実に実施するとともに、医療事故に関する情報の収集・分析に努め、医療安全対策の徹底を図ること。</p> <p>また、患者が自ら受ける医療の内容を理解し、納得の上で自分に合った治療法を選択できるよう、十分な説明に基づくインフォームド・コンセントを徹底するなど、患者中心の医療を実践すること。</p>
----------	--

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>イ 福岡市民病院</p> <p>① 感染症専門医を中心に、院内感染対策委員会及び感染制御チーム（ICT）の連携により院内感染防止対策を徹底するとともに、他病院との共同カンファレンスや相互ラウンド等を通じて、耐性菌検出状況や抗菌薬適正使用への取組、感染対策に関する情報交換、第三者的視点からの相互評価等を行った。（共同カンファレンス4回、外部参加者数156人）</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の流行に際しては、行政機関や他の感染症指定医療機関との密接な連携を図り、いち早く情報収集に努めるとともに、院内の職員に対しては、徹底した院内感染防止の取組として、感染症への理解を深める研修や、疑い症例来院時の対応に関する訓練等を適宜実施した。</p> <p>② 平成30年度に構築した医療安全対策地域連携ネットワークにおいて、参加施設間での意見交換・相互評価を実施し、自院だけでなく地域における医療安全対策の質の向上に取り組んだ。</p> <p>また、医療安全管理者を中心とした医療安全管理部門において、定期的な会議や院内ラウンド等を通じて安全情報を発信するなど、組織横断的な活動に継続して取り組むとともに、身体抑制の早期解除に向けて、マニュアルを改訂するなどの取組を進めた。</p> <p>医療従事者に対する教育・研修については年2回開催し、新たにセーフティマネージャーを対象とした研修会も実施した。医療安全研修における医師の参加率は、研修医も含めて100%となるなど、職員の意識向上につながった。</p>	2	4	4	<p>○ 院内感染防止対策や医療安全対策地域連携ネットワークによる地域における医療安全対策の質の向上、安心・安全な医療の提供に取り組んでいる。</p> <p>○ 全ての指標で目標値・昨年度実績を上回っており、病院機能評価3rdG:ver2.0の認定、200床以上の医療機関との比較によるクリニカルパスの高い使用率など、医療安全対策に積極的に取り組んでおり、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。</p>

中期計画			年度計画																								
<p>【目標値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成27年度 実績値</th> <th>令和2年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤管理指導件数 (件)</td> <td>9,713</td> <td>9,400</td> </tr> <tr> <td>栄養食事指導・相 談件数 (件)</td> <td>1,220</td> <td>1,200</td> </tr> </tbody> </table>			指標	福岡市民病院		平成27年度 実績値	令和2年度 目標値	薬剤管理指導件数 (件)	9,713	9,400	栄養食事指導・相 談件数 (件)	1,220	1,200	<p>【目標値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成29年度 実績値</th> <th>令和元年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤管理指導件数 (件)</td> <td>10,212</td> <td>9,400</td> </tr> <tr> <td>栄養食事指導・相 談件数 (件)</td> <td>1,070</td> <td>960</td> </tr> </tbody> </table>			指標	福岡市民病院		平成29年度 実績値	令和元年度 目標値	薬剤管理指導件数 (件)	10,212	9,400	栄養食事指導・相 談件数 (件)	1,070	960
指標	福岡市民病院																										
	平成27年度 実績値	令和2年度 目標値																									
薬剤管理指導件数 (件)	9,713	9,400																									
栄養食事指導・相 談件数 (件)	1,220	1,200																									
指標	福岡市民病院																										
	平成29年度 実績値	令和元年度 目標値																									
薬剤管理指導件数 (件)	10,212	9,400																									
栄養食事指導・相 談件数 (件)	1,070	960																									



業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価												
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど											
<p>③ クリニカルパスの使用率について、クリニカルパス委員会等で適宜、新規作成や見直し、使用推進活動等を推進した結果、全国200床以上の医療機関の平均39.6%に対して57.9%と、高い水準となった。</p> <p>④ 薬剤師による処方監査・調剤監査や持参薬の確認、病棟の薬品管理、服薬指導等を行い、安全管理体制の徹底に努め、薬剤管理指導件数が目標値に達成した。 管理栄養士による栄養食事指導については、引き続き、積極的に取り組み、対象となる患者の増加もあり、目標を上回った。 また、認定看護師を中心に、認知症の症状悪化を予防することを目的とした認知症ケアを行うとともに、がん患者に対する心理的不安の軽減等を目的とした指導管理や糖尿病透析予防指導等について、多職種連携による取組を継続して行った。</p> <p>⑤ 多職種によるQMCチームを設置し、臨床指標の新規策定及び見直しやベンチマークによる比較評価や経時的なデータ推移の分析等を行い、適宜、臨床現場や関連委員会等へフィードバックを行うなど、さらなる医療の質の向上を図る取組を進めた。</p> <p>⑥ 現在の医療提供体制について改めて見直すことにより、安全・安心で、より質の高い医療を提供できる体制を整備することを目的として、令和2年1月に病院機能評価3rdG：Ver2.0を受審し、3月には中間結果報告を受け、無事に認定された。</p> <p>【実績値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成30年度 実績値</th> <th>令和元年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤管理指導件数 (件)</td> <td>9,509</td> <td>9,588</td> </tr> <tr> <td>栄養食事指導・相談 件数(件)</td> <td>1,033</td> <td>1,144</td> </tr> </tbody> </table>	指標	福岡市民病院		平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	薬剤管理指導件数 (件)	9,509	9,588	栄養食事指導・相談 件数(件)	1,033	1,144				
指標		福岡市民病院													
	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値													
薬剤管理指導件数 (件)	9,509	9,588													
栄養食事指導・相談 件数(件)	1,033	1,144													

中期目標(項目)	<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項</p> <p>1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実</p>
----------	---

中期計画	年度計画
<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実</p> <p>① 理事会を中心に、適正かつ効率的な事業運営を図るため、外部理事等の助言に基づく民間的経営手法も取り入れながら自律的な法人経営を行う。</p> <p>② 病院長のリーダーシップの下、医療情勢の変化や患者ニーズ等に迅速かつ的確に対応できる機動性の高い病院経営を行うとともに、市立病院機構全体として、長期的な視点を踏まえ、一体的な運営管理を行う。</p>	<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実</p> <p>① 理事会を中心に、適正かつ効率的な事業運営を図るため、外部理事等の助言に基づく民間的経営手法も取り入れながら自律的な法人経営を行う。</p> <p>② 病院長のリーダーシップの下、医療情勢の変化や患者ニーズ等に迅速かつ的確に対応できる機動性の高い病院経営を行うとともに、市立病院機構全体として、長期的な視点を踏まえ、一体的な運営管理を行う。</p> <p>③ こども病院における戦略的分析チーム(S a T)による活動など、定期的なプレゼンテーションを通じて、病院運営や経営改善に対する提案を行っていく。</p>

中期目標(内容)	地方独立行政法人制度の特長を活かし、各病院が自らの特性や実情を踏まえ、より機動的に業務改善ができるよう、各病院において病院長がリーダーシップを発揮し、自律性を発揮できる運営管理体制の充実を図ること。
----------	---

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>① 市立病院機構の運営を的確に行うため、理事会を計8回開催し、理事会の決定方針に沿った運営を行った。</p> <p>② 両病院ともに、病院長のリーダーシップの下、医療情勢の変化や患者のニーズに対応ができるよう、適宜、執行部会議(こども病院)や経営五役会議(市民病院)等を開催し、迅速な協議や意思決定、情報の共有化を図るとともに、病院の実態に則した機動性の高い病院経営に取り組んだ。</p> <p>また、運営本部と両病院合同による経営会議及び運営調整会議を毎月開催し、経営状況の把握や年度計画の進捗状況等を管理し、機構全体的な視点から、業務執行の的確性の検証はもとより、経済性・効率性の追求を徹底するなど、市立病院として適切な独法運営に取り組んだ。</p> <p>③ こども病院においては、若手から中堅職員による組織横断的な戦略的分析チーム(S a T)による活動が行われ、計11回(30年度:8回)のプレゼンテーションを実施し、病院運営や経営改善に関する5つの提案が採用され、検討を開始した。</p>	1	3	3	○ 病院長のリーダーシップの下、機動性の高い病院経営が行われており、また、業務執行の適格性の検証、経済性・効率性の追求を徹底するなど地方独立行政法人制度の特徴を活かした運営管理体制の充実に努めており、年度計画を順調に実施していると判断できるため、「評価3」とする。

中期目標(項目)	<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項</p> <p>2 事務部門の機能強化</p>
----------	---

中期計画	年度計画
<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 事務部門の機能強化</p> <p>① 経営状況や医療を取り巻く情報を整理・分析する能力など、事務部門に求められる専門性を更に高めていくため、研修の充実を図るとともに、スキルアップを支援するための制度の導入を検討する。</p> <p>② 市立病院の運営に必要なノウハウ等が蓄積・継続されるよう、情報共有の徹底やOJTの充実を図るとともに、職員のキャリアプランを踏まえた人事異動を通して、事務部門の更なる機能強化に努める。</p>	<p>2 事務部門の機能強化</p> <p>① 市立病院の運営に必要なノウハウ等が蓄積・継続されるよう、事務のマニュアル化や業務の可視化等に努め、情報共有や業務の効率化を推進する。</p> <p>② 事務部門に求められる専門性を更に高めていくため、研修の充実を図るとともに、テーマごとの職場内研修等の実施により、効果的なOJT (On the Job Training) に繋げる。</p> <p>③ 職員のキャリアプランを踏まえた適材適所の人事配置に努める。</p> <p>④ こども病院においては、職員の事務作業の軽減化等を図るため、ペーパーレス会議の導入や、RPA (Robotic Process Automation) の導入について検討を進める。</p>

中期目標(内容)	各病院の経営支援を的確に行うことができる人材や、医療を巡る環境変化に柔軟に対応できる人材を育成するため、その専門的知識やスキルを習得するための研修を計画的に実施するとともに、市立病院としてのノウハウを確実に蓄積し、事務部門の更なる機能強化に努めること。
----------	--

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
① 市立病院の運営に必要なノウハウ等が蓄積・継続されるよう、運営本部及び両病院の経理担当者会議等を行うとともに、様式の見直しを行うなど、事務の簡素化・効率化等に努めた。 ② 資質向上を目的とした研修を実施するとともに、将来のリーダーとなる職員を育成するため、外部の経営講座の派遣研修を実施した。 ③ 事務部門全体の機能強化及び職員のキャリアアップを踏まえ、病院間における人事異動を実施した。 ④ 院内主要会議のペーパーレス化を実施したほか、R P A (Robotic Process Automation) のプロジェクトチームを立ち上げ、給与計算にかかる事務作業を削減するなど、職員の事務作業の効率化を図った。	1	3	3	○ 病院の事務の簡素化・効率化に努めたほか、病院間における人事異動を実施、院内主要会議のペーパーレス化、事務部門の機能強化に努めるなど年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。

中期目標(項目)	<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項</p> <p>3 働きがいのある職場環境づくり</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>3 働きがいのある職場環境づくり</p> <p>① 職員ニーズ等を踏まえ、福利厚生の更なる充実に取り組むとともに、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、育児・介護などを支援する制度の利用促進や組織全体の意識改革を図り、職員が働きやすい職場環境の整備に努める。</p> <p>② 職員のモチベーションの維持・向上を図るため、人事評価制度の改善に引き続き取り組むとともに、社会情勢の変化等に適合しつつ、職員の意欲を引き出すよう、人事・給与制度について、適宜、見直しを行う。</p>	<p>3 働きがいのある職場環境づくり</p> <p>① 職員が安心して働き続けることができるよう、福利厚生の更なる充実に取り組むとともに、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、制度の周知徹底はもとより、研修や会議等を通じて、所属長を始め職員の意識改革を図る。</p> <p>② 育児・介護などを支援する制度の利用促進や、労働基準法改正の趣旨を踏まえた年次有給休暇取得日数の向上、時間外勤務の縮減等に取り組む。</p> <p>③ 社会情勢の変化等を踏まえた人事・給与制度の改善に取り組む。</p> <p>④ 現在試行実施中の医師以外の管理職を対象とした目標管理制度について、その効果等を検証しながら、本格実施に向けた検討を進める。</p>

中期目標(内容)	<p>職員の福利厚生の充実やワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組みを行い、職員が働きやすい職場環境の整備に努めること。</p> <p>また、職員の業績や能力を公正かつ客観的に評価できるように人事評価制度の改善を行い、職員のモチベーションの維持・向上を図ること。</p>
----------	---

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエイト	評価	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>① 職員が安心して働き続けることができるよう、就学前児童を持つ職員の労働環境向上の観点から、夜間保育を継続実施するなど、福利厚生の充実に取り組んだ。</p> <p>また、年間を通じて、運営本部と両病院看護部が中心となり「看護師働き方検討会議」を開催し、業務と自己研鑽の明確化など看護師が働きやすい環境づくりの更なる推進に向けて検討を進めた。</p> <p>② 労働基準法改正を踏まえ、年休5日取得を徹底するとともに、職員のワーク・ライフ・バランス推進の観点から、各職場において年休取得率の向上や時間外勤務の縮減に努めた。</p> <p>③ 令和2年4月施行の同一労働同一賃金の趣旨を踏まえ、正規職員と同じ給料表の適用や、新たに地域手当、特殊勤務手当等の支給、病気休暇の新設や職務免除の拡大など有期職員就業規則等の一部改正を行った。</p> <p>④ 医師以外の管理職を対象とした人事評価制度について、令和2年4月からの本格実施に向けた検討を進めた。</p>	1	3	3	<p>○ 就学前児童を持つ職員の労働環境向上のため夜間保育の継続実施や「看護師働き方検討会議」の開催、有期職員就業規則等の一部改正など、職員が働きやすい職場環境の整備に向けた取組を行っており、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>

中期目標(項目)	<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項</p> <p>4 法令遵守と公平性・透明性の確保</p>
----------	---

中期計画	年度計画
<p>第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>4 法令遵守と公平性・透明性の確保</p> <p>① 関係法令や内部規定の遵守などコンプライアンスを徹底するとともに、市立病院として公平性・透明性を確保した適正な病院運営を行う。</p> <p>② 個人情報の保護及び情報公開に関しては、福岡市の関係条例及び当法人の情報セキュリティポリシーに基づき、適切に対応する。</p>	<p>4 法令遵守と公平性・透明性の確保</p> <p>① 各種研修制度の拡充や組織の管理体制等の強化により、関係法令や内部規定の遵守などコンプライアンスを徹底する。</p> <p>② 監事（弁護士、公認会計士）及び会計監査人による監査等の実施により、内部統制を適正に維持し、市立病院として適正な病院運営を行う。</p> <p>③ 個人情報保護及び情報資産に関しては、福岡市の関係条例等及び当法人の情報セキュリティポリシーに基づき、適切に対応するとともに、研修等を通じて職員の教育を徹底するほか、カルテ等の診療情報に関しては、診療録開示委員会を開催して開示の可否を決定する。</p>



中期目標(内容)	<p>医療法を始めとする関係法令を遵守することはもとより、行動規範と倫理に従い、市立病院の運営を担う地方独立行政法人として、公平性・透明性を確保した病院運営を行うこと。</p> <p>また、個人情報の保護及び情報公開に関しては、福岡市個人情報保護条例（平成17年福岡市条例第103号）及び福岡市情報公開条例（平成14年福岡市条例第3号）に基づき、適切に対応すること。</p>
----------	---

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>① 新規採用職員研修などさまざまな機会を通じて職員の服務規律の指導を徹底し、法人職員として有すべき行動規範と倫理観の確立に努めた。</p> <p>また、職員の親睦会費等の管理方法を新たに定め、取扱いについて職員に周知を行い、適正な管理に努めた。</p> <p>② 市立病院機構全体の業務の適正及び効率性の検証を行うため、監事（弁護士、公認会計士）による監査を行った。</p> <p>③ 個人情報保護及び情報公開に関しては、福岡市の関係条例等及び当機構の情報セキュリティポリシーに基づき、適切に対応するとともに、研修等を通じて職員の教育を徹底した。また、カルテ等の開示請求に対しては、診療録（カルテ）開示委員会で開示の可否を決定した（こども病院16件、福岡市民病院53件）</p>	1	3	3	<p>○ 職員に対する服務規律、個人情報保護等の教育・指導を徹底するとともに、監事による監査、カルテ開示委員会による開示の可否など、市立病院として、公平性・透明性の確保に努めており、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>

中期目標(項目)	<p>第3 財務内容の改善に関する事項</p> <p>1 経営基盤の強化 (1) 経営基盤の強化と運営費負担金の縮減</p>
----------	--

中期計画	年度計画																												
<p>第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 経営基盤の強化</p> <p>(1) 経営基盤の強化と運営費負担金の縮減 財務状況を踏まえ、取り組むべき課題を明確にしたうえで収支改善に取り組み、将来的にも安定した経営を行うことができるよう、更なる経営基盤の強化を図る。 また、市立病院として求められる医療を提供しつつ、より一層の経営の効率化や健全化を進め、運営費負担金の縮減に努める。</p> <p>【目標値】 (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>平成27年度 実績値</th> <th>令和2年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総収支比率</td> <td>99.8</td> <td>102.9</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>101.9</td> <td>102.9</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率※</td> <td>84.0</td> <td>85.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成27年度実績値については、監査法人の指摘により消費税等に係る費用計上を営業外費用から営業費用に変更しているため、平成27年度業務実績報告書における実績値とは異なる。</p>	指標	福岡市立こども病院		平成27年度 実績値	令和2年度 目標値	総収支比率	99.8	102.9	経常収支比率	101.9	102.9	医業収支比率※	84.0	85.8	<p>第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 経営基盤の強化</p> <p>(1) 経営基盤の強化と運営費負担金の縮減 ア 福岡市立こども病院 ① 毎週開催の執行部会議、毎月開催の運営会議において、病院の経営状況を踏まえ、取り組むべき課題を明確にしたうえで、増収及び費用削減に取り組むとともに、月次決算の実施など経営に関する情報を迅速に把握し、経営分析や他病院との比較・分析を行うなど、効率的な病院経営を行う。</p> <p>【目標値】 (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>平成29年度 実績値</th> <th>令和元年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総収支比率</td> <td>109.4</td> <td>102.9</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>109.4</td> <td>102.9</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td>94.2</td> <td>88.5</td> </tr> </tbody> </table>	指標	福岡市立こども病院		平成29年度 実績値	令和元年度 目標値	総収支比率	109.4	102.9	経常収支比率	109.4	102.9	医業収支比率	94.2	88.5
指標		福岡市立こども病院																											
	平成27年度 実績値	令和2年度 目標値																											
総収支比率	99.8	102.9																											
経常収支比率	101.9	102.9																											
医業収支比率※	84.0	85.8																											
指標	福岡市立こども病院																												
	平成29年度 実績値	令和元年度 目標値																											
総収支比率	109.4	102.9																											
経常収支比率	109.4	102.9																											
医業収支比率	94.2	88.5																											

中期目標(内容)	<p>福岡市立こども病院の移転・開院を踏まえ、将来的にも安定した経営を行うことができるよう経営基盤を強化すること。</p> <p>また、福岡市の厳しい財政状況を踏まえると、引き続き市立病院機構全体の運営費負担金の縮減に向けた更なる取組みが求められることから、より一層の経営の効率化や健全化を進めること。</p>
----------	---

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価															
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど														
<p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>① 執行部会議や運営会議を定期的を開催し、速報ベースでの月次予決算報告等を行うとともに、積極的な増収対策や費用削減と併せて効率的な病院経営について検討を重ね、決定事項等については迅速に職員全体への周知を図った。</p> <p>【実績値】 (単位：%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="text-align: center;">指標</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">平成30年度 実績値</th> <th style="text-align: center;">令和元年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総収支比率</td> <td style="text-align: center;">110.9</td> <td style="text-align: center;">108.2</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td style="text-align: center;">110.9</td> <td style="text-align: center;">108.2</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td style="text-align: center;">96.3</td> <td style="text-align: center;">93.4</td> </tr> </tbody> </table>	指標	福岡市立こども病院		平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	総収支比率	110.9	108.2	経常収支比率	110.9	108.2	医業収支比率	96.3	93.4	2	4	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 積極的な増収対策や費用削減が着実に進められており、経営基盤の強化が図られている。</li> <li>○ 全ての指標で目標値を上回っており、特に、経常収支比率は、全国の小児専門病院の中で高い水準にあることなどを評価し、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。</li> </ul>
指標		福岡市立こども病院																
	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値																
総収支比率	110.9	108.2																
経常収支比率	110.9	108.2																
医業収支比率	96.3	93.4																

中期目標(項目)	<p>第3 財務内容の改善に関する事項</p> <p>1 経営基盤の強化 (1) 経営基盤の強化と運営費負担金の縮減</p>
----------	--

中期計画	年度計画																												
<p>第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 経営基盤の強化</p> <p>(1) 経営基盤の強化と運営費負担金の縮減 財務状況を踏まえ、取り組むべき課題を明確にしたうえで収支改善に取り組み、将来的にも安定した経営を行うことができるよう、更なる経営基盤の強化を図る。 また、市立病院として求められる医療を提供しつつ、より一層の経営の効率化や健全化を進め、運営費負担金の縮減に努める。</p> <p>【目標値】 (単位：%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成27年度 実績値</th> <th>令和2年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総収支比率</td> <td style="text-align: center;">101.3</td> <td style="text-align: center;">103.2</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td style="text-align: center;">106.0</td> <td style="text-align: center;">103.2</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率※</td> <td style="text-align: center;">92.1</td> <td style="text-align: center;">94.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成27年度実績値については、監査法人の指摘により消費税等に係る費用計上を営業外費用から営業費用に変更しているため、平成27年度業務実績報告書における実績値とは異なる。</p>	指標	福岡市民病院		平成27年度 実績値	令和2年度 目標値	総収支比率	101.3	103.2	経常収支比率	106.0	103.2	医業収支比率※	92.1	94.8	<p>イ 福岡市民病院</p> <p>① 高度救急医療体制を推進し、脳疾患・循環器疾患を中心に重篤な救急患者の受入及び手術件数の増加を図ることで、診療単価の向上並びに収益の確保に努める。</p> <p>② 高度専門医療を提供するうえで必要となる資源投入を行うとともに、経営効率化を念頭に置き、施設基準遵守を担保する範囲内での人員体制の最適化を図る。</p> <p>【目標値】 (単位：%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成29年度 実績値</th> <th>令和元年度 目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総収支比率</td> <td style="text-align: center;">102.4</td> <td style="text-align: center;">100.0</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td style="text-align: center;">102.4</td> <td style="text-align: center;">100.0</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td style="text-align: center;">93.4</td> <td style="text-align: center;">91.6</td> </tr> </tbody> </table>	指標	福岡市民病院		平成29年度 実績値	令和元年度 目標値	総収支比率	102.4	100.0	経常収支比率	102.4	100.0	医業収支比率	93.4	91.6
指標		福岡市民病院																											
	平成27年度 実績値	令和2年度 目標値																											
総収支比率	101.3	103.2																											
経常収支比率	106.0	103.2																											
医業収支比率※	92.1	94.8																											
指標	福岡市民病院																												
	平成29年度 実績値	令和元年度 目標値																											
総収支比率	102.4	100.0																											
経常収支比率	102.4	100.0																											
医業収支比率	93.4	91.6																											

中期目標(内容)	<p>福岡市立こども病院の移転・開院を踏まえ、将来的にも安定した経営を行うことができるよう経営基盤を強化すること。</p> <p>また、福岡市の厳しい財政状況を踏まえると、引き続き市立病院機構全体の運営費負担金の縮減に向けた更なる取組みが求められることから、より一層の経営の効率化や健全化を進めること。</p>
----------	---

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価															
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど														
<p>イ 福岡市民病院</p> <p>① 公立病院の役割を果たすべく、高度専門医療、救急医療に継続して取り組んだが、地域の医療環境の変化等の影響により、医業収益が減収となった。</p> <p>② 急性期医療の質を向上させるとともに、新型インフルエンザ等の感染症対策を始めとした公立病院としての診療機能の充実を図るなど、施設基準の遵守を担保しながら、必要な人員配置等の医療資源の投入を行った結果、医業費用が増加し、収支が悪化した。</p> <p>【実績値】 (単位：%)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成30年度 実績値</th> <th>令和元年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総収支比率</td> <td>100.6</td> <td>95.8</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>100.6</td> <td>95.8</td> </tr> <tr> <td>医業収支比率</td> <td>92.6</td> <td>87.2</td> </tr> </tbody> </table>	指標	福岡市民病院		平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	総収支比率	100.6	95.8	経常収支比率	100.6	95.8	医業収支比率	92.6	87.2	2	2	3	<p>○ 高度専門医療、救急医療等に継続して取り組み、必要な人員配置等の医療資源投入を行っているが、全ての指標で目標値を下回っている。</p> <p>○ 一方で、指標の目標値に対する実績値の達成率は、平均で95%を超えていること、脳卒中急性期、急性期心血管疾患、重症患者の救急搬送を積極的に受け入れていること、さらに新型コロナウイルス感染症の対応に際しては、福岡市における感染症医療の中心的な役割を果たすため、一般病棟の病床確保を行っていることなどを勘案し、年度計画を順調に実施していると判断して、「評価3」とする。</p>
指標		福岡市民病院																
	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値																
総収支比率	100.6	95.8																
経常収支比率	100.6	95.8																
医業収支比率	92.6	87.2																

中期目標(項目)	<p>第3 財務内容の改善に関する事項</p> <p>1 経営基盤の強化 (2) 投資財源の確保</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>1 経営基盤の強化</p> <p>(2) 投資財源の確保</p> <p>独立採算制を前提とした公営企業型地方独立行政法人の会計制度の趣旨に鑑み、今後の投資計画を踏まえた自己財源の確保に努める。</p>	<p>(2) 投資財源の確保</p> <p>① 独立採算制を前提とした公営企業型地方独立行政法人の会計制度の趣旨に鑑み、今後の投資計画を踏まえた自己財源の確保に努める。</p>

中期目標(内容)	施設整備や高額医療機器の更新など、今後の投資計画を踏まえながら、自己財源の確保に努めること。
----------	--

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエイト	評価	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>① 自己財源の確保対策として、収支改善による利益の確保とともに、複数の金融機関を対象に定期預金の利率の入札を継続して実施し、積立金運用益の確保を図った。</p> <p>また、価格交渉の徹底等により必要な医療機器を確保しつつ費用の抑制を図るなど、効率的に予算を執行し、今後の投資計画を踏まえた自己財源の確保に努めた。</p>	1	3	3	<p>○ 収支改善による利益確保や価格交渉の徹底等による医業費用の抑制などにより、自己財源の確保が認められることから、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>

中期目標(項目)	<p>第3 財務内容の改善に関する事項</p> <p>2 収支改善 (1) 収益確保</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 収支改善</p> <p>(1) 収益確保</p> <p>① 診療体制の充実等による医療の高度化に取り組むとともに、効率的な病床管理や高額医療機器の稼働率向上に努め、収入増を図る。</p> <p>② 診療報酬改定等の医療情勢の変化に迅速に対応して適切な施設基準の取得を行い、収入の確保に努める。</p> <p>③ 診療報酬請求に係るチェック体制を強化するとともに、医療費の未収金発生防止や確実な回収に努める。</p>	<p>2 収支改善</p> <p>(1) 収益確保</p> <p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>① 循環器、周産期及び手術・集中治療センターを中心に、関連科との連携を密にし、高度専門医療、小児救急医療及び周産期医療の充実並びに病院設備の効率的な稼働を図る。</p> <p>② 診療報酬改定を踏まえ、適切な施設基準の取得や維持管理に努める。</p> <p>③ 保険診療検討ワーキングチームを中心に査定内容の分析等を行うとともに、平成30年度に実施したレセプト精度調査の結果を踏まえ、診療報酬請求の更なる精度向上に努める。</p> <p>④ 医事課職員やMSWによる患者相談の充実等により、医療費の未収金発生防止に努めるとともに、回収困難事案については、法律事務所への業務委託によって確実な回収を図る。</p> <p>また、入院費等のクレジットカード支払い申込みによって連帯保証人の指定を免除する取り扱いを開始し、未収金の発生を防止するとともに患者の負担軽減を図る。</p>



中期目標(内容)	<p>診療体制の充実や効率的な病床利用及び高度医療機器の稼働率向上に努めるとともに、診療報酬改定等の医療環境の変化に的確に対応し、安定的な収益の確保に努めること。</p> <p>また、医療費の未収金発生の防止や確実な回収に努めること。</p>
----------	---

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>ア 福岡市立こども病院</p> <p>① 毎週行われる執行部会議において、各センター長を含む病院幹部による患者数・手術件数等のモニタリング及び協議を行い、効率的な病棟運用の施策を講じた。</p> <p>② 昨年度の診療報酬改定を踏まえ、施設基準の維持管理に努めた。</p> <p>③ 院内の保険診療検討ワーキングチームを中心に、病院全体で査定内容の分析並びに再発防止策等の精度向上に努めた結果、一次査定率を0.07% (30年度：0.10%) に抑えることができた。</p> <p>④ 医事課職員やMSWによる患者相談の充実等により、医療費の未収金発生防止に努めるとともに、長期滞納者に対して、法律事務所への未収金回収業務委託により、確実な回収に努めた。</p> <p>また、4月より入院費等のクレジットカード支払申込みによって連帯保証人の指定を免除する取り扱いを開始したことにより、未収金の発生を防止するとともに、患者の負担軽減を図った。</p> <p>上記のとおり取り組み、新規入院患者及び1人1日当たり入院単価等は目標値を上回り、医業収益も予算を上回った。</p>	2	4	4	<p>○ 効率的な病棟運用の施策、院内ワーキングチームの活用による診療報酬請求の一次査定率の抑制など、年度計画どおり収益の確保が図られた。</p> <p>○ 一部の指標で目標値を下回っているものの、新規入院患者及び1人1日当たり入院単価等は目標値を上回っており、医業収益も予算を上回っていることから、年度計画を上回って実施していると判断されるため、「評価4」とする。</p>

中期計画			年度計画		
【目標値】《再掲》			【目標値】《再掲》		
指標	福岡市立こども病院		指標	福岡市立こども病院	
	平成27年度 実績値	令和2年度 目標値		平成29年度 実績値	令和元年度 目標値
1人1日当たり 入院単価（円）	96,877	99,400	1人1日当たり 入院単価（円）	101,114	107,088
1人1日当たり 外来単価（円）	12,458	11,700	1人1日当たり 外来単価（円）	12,756	12,323
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	184.4 (78.0)	207.8 (86.9)	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	212.1 (88.7)	216.1 (90.4)
新規入院患者数（人）	6,038	6,200	新規入院患者数（人）	6,908	7,322
平均在院日数（日）	10.2	11.2	平均在院日数（日）	10.2	10.0
1日当たり 外来患者数（人）	288.9	300.0	1日当たり 外来患者数（人）	358.9	377.0
手術件数（件）	2,447	2,650	手術件数（件）	2,760	2,983
救急搬送件数（件）	1,028	1,050	救急搬送件数（件）	1,332	1,477

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価																														
	ウエ イト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																													
<b>【実績値】 《再掲》</b> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>平成30年度 実績値</th> <th>令和元年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1人1日当たり 入院単価(円)</td> <td>107,411</td> <td>108,393</td> </tr> <tr> <td>1人1日当たり 外来単価(円)</td> <td>11,645</td> <td>11,492</td> </tr> <tr> <td>1日当たり 入院患者数(人) (病床利用率(%))</td> <td>221.6 (92.7)</td> <td>215.5 (90.2)</td> </tr> <tr> <td>新規入院患者数(人)</td> <td>7,424</td> <td>7,428</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数(日)</td> <td>9.9</td> <td>9.7</td> </tr> <tr> <td>1日当たり 外来患者数(人)</td> <td>384.8</td> <td>389.5</td> </tr> <tr> <td>手術件数(件)</td> <td>3,018</td> <td>2,929</td> </tr> <tr> <td>救急搬送件数(件)</td> <td>1,516</td> <td>1,380</td> </tr> </tbody> </table>	指標	福岡市立こども病院		平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	1人1日当たり 入院単価(円)	107,411	108,393	1人1日当たり 外来単価(円)	11,645	11,492	1日当たり 入院患者数(人) (病床利用率(%))	221.6 (92.7)	215.5 (90.2)	新規入院患者数(人)	7,424	7,428	平均在院日数(日)	9.9	9.7	1日当たり 外来患者数(人)	384.8	389.5	手術件数(件)	3,018	2,929	救急搬送件数(件)	1,516	1,380				
指標		福岡市立こども病院																															
	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値																															
1人1日当たり 入院単価(円)	107,411	108,393																															
1人1日当たり 外来単価(円)	11,645	11,492																															
1日当たり 入院患者数(人) (病床利用率(%))	221.6 (92.7)	215.5 (90.2)																															
新規入院患者数(人)	7,424	7,428																															
平均在院日数(日)	9.9	9.7																															
1日当たり 外来患者数(人)	384.8	389.5																															
手術件数(件)	3,018	2,929																															
救急搬送件数(件)	1,516	1,380																															

中期目標(項目)	<p>第3 財務内容の改善に関する事項</p> <p>2 収支改善 (1) 収益確保</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 収支改善</p> <p>(1) 収益確保</p> <p>① 診療体制の充実等による医療の高度化に取り組むとともに、効率的な病床管理や高額医療機器の稼働率向上に努め、収入増を図る。</p> <p>② 診療報酬改定等の医療情勢の変化に迅速に対応して適切な施設基準の取得を行い、収入の確保に努める。</p> <p>③ 診療報酬請求に係るチェック体制を強化するとともに、医療費の未収金発生防止や確実な回収に努める。</p>	<p>イ 福岡市民病院</p> <p>① 診療報酬に関して、適切な施設基準の取得や維持管理に努める。</p> <p>特に重症度、医療・看護必要度については、モニタリングや分析を精緻に行い、施設基準を維持するとともに、重症患者の適切な確保と効率的な病床管理に取り組み、収入増を図る。</p> <p>② PFM (Patient Flow Management) センターを設置し、外来時点から患者を包括的にフォローし、計画的な入院と円滑な退院調整を推進するとともに、DPC入院期間や重症度、医療・看護必要度のモニタリング等を通じた効率的かつ最適な病床管理を図る。</p> <p>③ レセプトチェックシステムの定期バージョンアップを行い、レセプト請求前の精度を強化するとともに、各診療科の医師と連携し、正確なレセプト請求を行う。</p> <p>また、未収金については、未収金対応マニュアルを活用して、未収金発生防止や確実な回収を図るとともに、入院費等のクレジットカード支払い申込みによって連帯保証人の指定を免除する取り扱いを開始し、未収金の発生を防止するとともに患者の負担軽減を図る。</p>

中期目標(内容)	<p>診療体制の充実や効率的な病床利用及び高度医療機器の稼働率向上に努めるとともに、診療報酬改定等の医療環境の変化に的確に対応し、安定的な収益の確保に努めること。</p> <p>また、医療費の未収金発生の防止や確実な回収に努めること。</p>
----------	---

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウェイト	評価	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>イ 福岡市民病院</p> <p>① 診療報酬に関して、常に情報収集に努めるとともに、算定漏れが生じやすい項目等については医師等と密接な情報共有を行った。</p> <p>また、重症度、医療・看護必要度については、モニタリングや分析を精緻に行い、施設基準の維持に努めるとともに、医師事務作業補助者を増員して施設基準の類上げを行うなど、増収対策に取り組んだ。</p> <p>令和2年度の診療報酬改定に向けて、引き続き情報収集及び情報共有を行うとともに、施設基準に必要な運用方法の見直しを行うなど、増収につながる取組を進めた。</p> <p>② 病床稼働率の向上を目的として、PFMセンターの設置に伴い、受入れの流れが不透明だった「予定外の受診や入院依頼」について、専任の担当者(看護師長)を配置して副院長の権限を委譲し、原則として診療科の判断を経ずに受入れを決定できる体制を整えた。</p> <p>③ レセプトチェックシステムのカスタマイズを引き続き行うとともに、各診療科医師との連携を図り、正確なレセプト請求を行った。</p> <p>また、未収金については、未収金対応マニュアルを活用して、電話及び文書による督促や分納相談等により回収を行うとともに、回収困難案件については、法律事務所への業務委託を継続し、確実な回収を図った。さらに、未収金の発生を防止するとともに患者の負担軽減を図るため、入院費等のクレジットカード支払い申込みによって連帯保証人の指定を免除する取り扱いを開始した。</p> <p>● 外来フロアに設置のインフォメーションボード及びモニター式デジタルサイネージにおいて、企業広告を導入し、インフォメーションボードで年間20万円余、モニターで年間290万円余の広告収入を確保した。</p> <p>上記のとおり取り組んだが、新型コロナウイルス感染症や地域の医療環境の変化等の影響により、手術件数を除く指標において、目標を下回っており、医業収益も予算を下回った。</p>	2	2	3	<p>○ 施設基準の類上げ、医師事務作業補助者の増員、未収金対策に取り組むなど、収益確保に努めているが、手術件数を除く全ての指標で目標値を下回っている。</p> <p>○ 一方で、指標の目標値に対する実績値の達成率は、平均で96%を超えていること、外来フロアのインフォメーションボード等に企業広告を導入するなど、収益確保に努めていること、新型コロナウイルス感染症の対応に際しては、福岡市における感染症医療の中心的な役割を果たすため、一般病棟の病床確保を行っていることなどを勘案し、年度計画を順調に実施していると判断して、「評価3」とする。</p>

中期計画			年度計画		
【目標値】《再掲》			【目標値】《再掲》		
指標	福岡市民病院		指標	福岡市民病院	
	平成27年度 実績値	令和2年度 目標値		平成29年度 実績値	令和元年度 目標値
1人1日当たり 入院単価（円）	64,749	67,000	1人1日当たり 入院単価（円）	64,141	67,926
1人1日当たり 外来単価（円）	22,739	18,200	1人1日当たり 外来単価（円）	20,907	23,068
1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	183.7 (90.1)	183.6 (90.0)	1日当たり 入院患者数（人） （病床利用率（%））	189.7 (93.0)	192.6 (94.4)
新規入院患者数（人）	4,510	4,800	新規入院患者数（人）	4,709	4,830
平均在院日数（日）	12.6	12.5	平均在院日数（日）	12.6	12.3
1日当たり 外来患者数（人）	234.2	250.0	1日当たり 外来患者数（人）	226.8	230.0
手術件数（件）	3,060	3,100	手術件数（件）	3,534	3,600
救急搬送件数（件）	2,620	2,800	救急搬送件数（件）	3,011	3,000

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価																														
	ウ エ イ ト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																													
<p>【実績値】《再掲》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成30年度 実績値</th> <th>令和元年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1人1日当たり 入院単価(円)</td> <td>67,382</td> <td>64,081</td> </tr> <tr> <td>1人1日当たり 外来単価(円)</td> <td>22,569</td> <td>22,965</td> </tr> <tr> <td>1日当たり 入院患者数(人) (病床利用率(%))</td> <td>191.1 (93.7)</td> <td>183.9 (90.2)</td> </tr> <tr> <td>新規入院患者数(人)</td> <td>4,895</td> <td>4,525</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数(日)</td> <td>12.4</td> <td>12.7</td> </tr> <tr> <td>1日当たり 外来患者数(人)</td> <td>232.6</td> <td>219.7</td> </tr> <tr> <td>手術件数(件)</td> <td>3,834</td> <td>3,719</td> </tr> <tr> <td>救急搬送件数(件)</td> <td>3,130</td> <td>2,820</td> </tr> </tbody> </table>	指標	福岡市民病院		平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	1人1日当たり 入院単価(円)	67,382	64,081	1人1日当たり 外来単価(円)	22,569	22,965	1日当たり 入院患者数(人) (病床利用率(%))	191.1 (93.7)	183.9 (90.2)	新規入院患者数(人)	4,895	4,525	平均在院日数(日)	12.4	12.7	1日当たり 外来患者数(人)	232.6	219.7	手術件数(件)	3,834	3,719	救急搬送件数(件)	3,130	2,820				
指標		福岡市民病院																															
	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値																															
1人1日当たり 入院単価(円)	67,382	64,081																															
1人1日当たり 外来単価(円)	22,569	22,965																															
1日当たり 入院患者数(人) (病床利用率(%))	191.1 (93.7)	183.9 (90.2)																															
新規入院患者数(人)	4,895	4,525																															
平均在院日数(日)	12.4	12.7																															
1日当たり 外来患者数(人)	232.6	219.7																															
手術件数(件)	3,834	3,719																															
救急搬送件数(件)	3,130	2,820																															

中期目標(項目)	<p>第3 財務内容の改善に関する事項</p> <p>2 収支改善 (2) 費用削減</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</p> <p>2 収支改善</p> <p>(2) 費用削減</p> <p>① 診療材料や医薬品等の調達に係る価格交渉の徹底, 契約手法や委託業務の見直し及びジェネリック医薬品の使用拡大等を行い, 費用の削減を図る。</p> <p>② 両病院とも, 適切に施設・設備のアセットマネジメントを推進する。</p>	<p>(2) 費用削減</p> <p>① 診療材料の同種同効品への切り替えや, ジェネリック医薬品の使用拡大により価格低減を図るとともに, 経費全般においても価格交渉の徹底や契約手法の見直しに努め, 削減を図る。</p> <p>② こども病院においては, 平成29年度から, SPD業務の見直しを図り, 従来の物品管理業務に加え調達業務も委託する内容に変更しており, この4年間での購入価格の必達削減額を目指すとともに, 特に診療材料についてはベンチマークを活用しながら委託業者と連携し, 更なる費用削減に取り組む。</p> <p>③ 市民病院においては, 中長期修繕計画に基づき, 施設・設備の長寿命化や投資の平準化を図るとともに, 省エネ対策の更なる検討・取組を行うことにより, 維持修理に係る費用の削減を図る。</p> <p>また, ベンチマークの活用やデータ分析等を通じた材料費の縮減と, 無駄を省いた効率的な運用に取り組むことを目的として, 多職種によるCOP (Cost Optimization) チームを設置する。</p>



中期目標(内容)	<p>地方独立行政法人の会計制度に基づいた効果的・効率的な事業運営に努めるとともに、効果的な費用の削減に努めること。</p> <p>また、計画的な維持修理による施設の長寿命化と投資の平準化、施設運営・保守管理の効率化などのアセットマネジメントを推進すること。</p>
----------	---

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエイト	評価	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>① 診療材料の同種同行品への切替えや、ジェネリック医薬品の使用拡大により価格低減を図るとともに、経費全般においても価格交渉の徹底、契約手法の見直しに努め、削減を図った。</p> <p>② こども病院においては、施設の維持管理を行うPFI事業者と協議しながら計画的な修繕を行った。 また、診療材料については、積極的にSPD(医療製品物流管理)受託業者と連携・協力し、さらなる価格交渉を徹底した。</p> <p>③ 福岡市民病院においては、中長期修繕計画に基づき、非常用発電装置のバッテリーとなる直流電源装置及び病院本館の空調装置である吸収式冷温水発生装置3台の更新工事、ボイラー更新工事への着手、外壁改修、ボイラー更新及び高置水槽更新に係る検討を開始した。 省エネ対策としては、平成30年度に引き続き、医局照明のLED化を行う等、維持修理に係る費用の削減を図った。 また、ベンチマークやデータ分析等を通じた材料費の縮減と、無駄を省いた効率的な運用に取り組むことを目的として、医師と事務が協同してCOPチームを設置し、SPD導入により蓄積された購買データを活用した診療材料の価格交渉等に努めた結果、材料費を約1,000万円削減した。</p>	2	3	3	<p>○ 診療材料を始めとした経費全般において、価格交渉など経費削減に努めるとともに、計画的な修繕を行うなどアセットマネジメントを推進し、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>

中期計画			年度計画		
【目標値】 (単位：%)			【目標値】 (単位：%)		
指標	福岡市立こども病院		指標	福岡市立こども病院	
	平成27年度 実績値	令和2年度 目標値		平成29年度 実績値	令和元年度 目標値
給与費対医業収益比率	58.7	60.2	給与費対医業収益比率	52.2	57.5
材料費対医業収益比率	21.1	19.7	材料費対医業収益比率	19.8	20.2
うち薬品費対医業収益比率	8.0	7.4	うち薬品費対医業収益比率	7.3	7.7
うち診療材料費対医業収益比率	12.9	12.0	うち診療材料費対医業収益比率	12.3	12.0
委託費対医業収益比率	9.9	9.7	委託費対医業収益比率	9.2	9.8
ジェネリック医薬品導入率	47.4	80.0	ジェネリック医薬品導入率 ※	92.0	87.4
			※ ジェネリック医薬品については、数量の割合で算出している。以下同じ。		
【目標値】 (単位：%)			【目標値】 (単位：%)		
指標	福岡市民病院		指標	福岡市民病院	
	平成27年度 実績値	令和2年度 目標値		平成29年度 実績値	令和元年度 目標値
給与費対医業収益比率	55.6	55.7	給与費対医業収益比率	54.9	56.3
材料費対医業収益比率	30.0	24.2	材料費対医業収益比率	27.7	28.7
うち薬品費対医業収益比率	12.4	8.6	うち薬品費対医業収益比率	9.2	9.2
うち診療材料費対医業収益比率	17.5	15.5	うち診療材料費対医業収益比率	18.5	19.4
委託費対医業収益比率	6.4	7.0	委託費対医業収益比率	7.4	7.1
ジェネリック医薬品導入率	69.3	83.0	ジェネリック医薬品導入率 ※	86.6	88.0

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価																								
	ウ エ イ ト	評 価	評 価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど																							
<p>【実績値】 (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市立こども病院</th> </tr> <tr> <th>平成30年度 実績値</th> <th>令和元年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給与費対医業収益比率</td> <td>53.6</td> <td>56.2</td> </tr> <tr> <td>材料費対医業収益比率</td> <td>17.9</td> <td>17.5</td> </tr> <tr> <td>  うち薬品費対医業収益比率</td> <td>5.9</td> <td>5.5</td> </tr> <tr> <td>  うち診療材料費対医業収益比率</td> <td>11.7</td> <td>11.6</td> </tr> <tr> <td>委託費対医業収益比率</td> <td>8.9</td> <td>9.3</td> </tr> <tr> <td>ジェネリック医薬品導入率 ※</td> <td>85.0</td> <td>89.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ジェネリック医薬品導入率については、数量の割合で算出している。以下同じ。</p>					指標	福岡市立こども病院		平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	給与費対医業収益比率	53.6	56.2	材料費対医業収益比率	17.9	17.5	うち薬品費対医業収益比率	5.9	5.5	うち診療材料費対医業収益比率	11.7	11.6	委託費対医業収益比率	8.9	9.3	ジェネリック医薬品導入率 ※	85.0	89.9
指標	福岡市立こども病院																										
	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値																									
給与費対医業収益比率	53.6	56.2																									
材料費対医業収益比率	17.9	17.5																									
うち薬品費対医業収益比率	5.9	5.5																									
うち診療材料費対医業収益比率	11.7	11.6																									
委託費対医業収益比率	8.9	9.3																									
ジェネリック医薬品導入率 ※	85.0	89.9																									
<p>【実績値】 (単位：%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="2">福岡市民病院</th> </tr> <tr> <th>平成30年度 実績値</th> <th>令和元年度 実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給与費対医業収益比率</td> <td>56.4</td> <td>62.9</td> </tr> <tr> <td>材料費対医業収益比率</td> <td>28.7</td> <td>27.0</td> </tr> <tr> <td>  うち薬品費対医業収益比率</td> <td>9.2</td> <td>8.4</td> </tr> <tr> <td>  うち診療材料費対医業収益比率</td> <td>19.5</td> <td>18.4</td> </tr> <tr> <td>委託費対医業収益比率</td> <td>7.1</td> <td>7.6</td> </tr> <tr> <td>ジェネリック医薬品導入率 ※</td> <td>88.6</td> <td>88.7</td> </tr> </tbody> </table>					指標	福岡市民病院		平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	給与費対医業収益比率	56.4	62.9	材料費対医業収益比率	28.7	27.0	うち薬品費対医業収益比率	9.2	8.4	うち診療材料費対医業収益比率	19.5	18.4	委託費対医業収益比率	7.1	7.6	ジェネリック医薬品導入率 ※	88.6	88.7
指標	福岡市民病院																										
	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値																									
給与費対医業収益比率	56.4	62.9																									
材料費対医業収益比率	28.7	27.0																									
うち薬品費対医業収益比率	9.2	8.4																									
うち診療材料費対医業収益比率	19.5	18.4																									
委託費対医業収益比率	7.1	7.6																									
ジェネリック医薬品導入率 ※	88.6	88.7																									

中期目標(項目)	<p>第4 その他業務運営に関する重要事項</p> <p>1 福岡市立こども病院における医療機能の充実</p>
----------	---

中期計画	年度計画
<p>第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 福岡市立こども病院における医療機能の充実</p> <p>中核的な小児総合医療施設としての役割を果たすため、高度小児医療、小児救急医療及び周産期医療の更なる充実を図るとともに、治験や臨床データ解析等の臨床研究、国際的な視野に立った職員の人材育成等に積極的に取り組み、小児・周産期医療の発展に貢献する。</p> <p>また、新病院基本構想で示された医療機能の基本的な考え方を踏まえ、引き続き病床の適切な運用や更なる確保を目指した取組を進める。</p>	<p>第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置</p> <p>1 福岡市立こども病院における医療機能の充実</p> <p>① 臨床研究部内の治験管理室においては、プロトコール数の増加を踏まえCRC(治験コーディネーター)を1名増員する。 また、臨床研究や検証的臨床試験に積極的に取り組み、小児・周産期医療の発展や新薬の開発に貢献する。</p> <p>② 国際医療支援センターを中心に、職員の外国語能力・コミュニケーション能力の向上を目指して、研修活動等を行う。</p> <p>③ 高度医療を行う小児総合医療施設として患者の治療・救命に全力を尽くすとともに、患者・家族の選択肢の一つとして、臓器提供の申し出がなされた際は円滑に対応できるよう、院内の体制確立に向け必要な取組を行う。</p> <p>④ 高度専門医療を提供するための先進的な医療の開発や研究、及びその為の人材育成や院内療養環境の整備、ふくおかハウスにおける将来的な改修費用等に係る資金確保が図られるよう、個人や企業からの支援確保に向け積極的な情報発信や働きかけを行っていく。</p> <p>⑤ 新病院基本構想で示された医療機能の基本的な考え方を踏まえ、引き続き病床の適切な運用等に係る取組を進める。</p> <p>⑥ 熱帯感染症等の診断と治療を実践的に学ぶことを目的に、タイ王国の大学へ医師等を派遣する熱帯医学短期研修を実施する。</p>

中期目標(内容)	<p>小児医療，周産期医療を取り巻く状況や医療環境の変化等を踏まえ，福岡市立こども病院に求められる役割を果たせるよう，中核的な小児総合医療施設としての医療機能の充実を図ること。</p> <p>また，新病院基本構想で示された医療機能の基本的な考え方を踏まえ，引き続き病床の適切な運用や更なる確保を目指した取組みを進めること。</p>
----------	---

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエイト	評価	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>① 厚生労働省D P C公開データにおいて，川崎病センター（211例）及び先天性心疾患に係る手術症例（113例）について，成人を含む全国のD P C病院の中で症例数が4年連続で全国一位となった。</p> <p>① 臨床研究について，日本医療研究開発機構（AMED）の研究代表として，川崎病の新しい病態を解明し，欧州一流紙「Cardiovascular Research」に発表するとともに，科学研究費助成事業（文部科学省）で初めて研究代表として採択された課題等に積極的に取り組み，共同研究を含め8件の研究に参加した。</p> <p>また，治験業務についても強化・充実を図り，アクティブプロトコール26件（うち新規8件）を受託したほか，日本で最多の実施症例数となる治験が3件となった。</p> <p>② 国際医療支援センターを中心に，職員の外国語能力・コミュニケーション能力の向上を目指して，医療英語・中国語研修を各12回開催した。</p> <p>③ 昨年度に引き続き，日本臓器移植ネットワーク主催研修への派遣を行うとともに，机上や手術室を用いた実地シミュレーションを実施した。</p> <p>④ 高度専門医療を提供するための先進的な医療の開発及び研究並びにその為の人材育成や院内療養環境の整備に取り組むとともに，ふくおかハウスにおける改修費用等に係る資金確保策として，支援自動販売機を院内外に7台設置した。</p> <p>⑤ 新病院基本構想で示された医療機能の基本的な考え方を踏まえ，引き続き病床の適切な運用等に係る取組を進めた。</p> <p>⑥ 熱帯感染症等の診断と治療を実践的に学ぶため，9月にタイ王国の大学が主催する熱帯医学短期研修へ医師3名を派遣し，医療技術の向上を図った。</p>	2	4	4	<p>○ 臨床研究や治験業務に積極的に取り組み，小児・周産期医療の発展や新薬の開発に貢献するなど，医療機能の充実が図られている。</p> <p>○ 川崎病センターの症例数や先天性心疾患に係る手術症例数が，4年連続全国一となるとともに，臨床研究においても川崎病の新病態を解明し，欧州一流紙に発表するなどの成果を挙げたことを評価し，年度計画を上回って実施していると判断されるため，「評価4」とする。</p>

中期目標(項目)	<p>第4 その他業務運営に関する重要事項</p> <p>2 福岡市民病院における経営改善の推進</p>
----------	--

中期計画	年度計画
<p>第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためにとるべき措置</p> <p>2 福岡市民病院における経営改善の推進</p> <p>① 高度専門医療，高度救急医療及び感染症医療を提供するなど，市立病院として求められる役割を果たすとともに，経営の効率化に努める。</p> <p>また，地域医療計画における当院の立場を十分に認識し，地域包括ケアシステムの中で急性期病院が果たすべき役割について必要な取組を行う。</p> <p>② 将来的な市民病院のあり方に関する検討状況を踏まえながら，施設・設備の計画的な維持管理に取り組む。</p>	<p>2 福岡市民病院における経営改善の推進</p> <p>① 公立病院に求められる，高度専門医療，高度救急医療及び感染症医療を提供するため，医療資源の効率的な活用を図り，収支改善に努める。</p> <p>また，他医療機関において対応が困難な救急患者の受入や，在宅患者の緊急時入院受入等を積極的に行い，地域包括ケアシステムにおける地域の基幹病院としての役割を果たす。</p> <p>② 中長期修繕計画に基づき，施設・設備の長寿命化や投資の平準化を図るとともに，将来的な市民病院のあり方に関する検討状況を踏まえ，当該計画を適宜見直し，施設・設備の適切な維持管理に取り組む。</p>

中期目標(内容)	<p>福岡市民病院については、平成27年度に総務省から優良事例として選定されるなど、地方独立行政法人化後の第1期・第2期にわたり、順調にその経営改善が図られたところであるが、引き続き福岡市の厳しい財政状況を踏まえ、経営の効率化に努めること。</p> <p>また、将来的な市民病院のあり方に関する検討状況を踏まえながら、既存の施設・設備の計画的な維持管理に取り組むこと。</p>
----------	--

業務の実績 (実施状況や評価の判断理由)	自己評価		市長の評価	
	ウエイト	評価	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
<p>① 当院の基本方針に基づき、市立病院として求められる役割を果たすため、新型コロナウイルス感染症の流行に際しては、疑似症患者の受入れ体制をいち早く整えるとともに、保健所や他の感染症指定医療機関と連携して適切に対応しつつ、高度専門医療、救急医療及び感染症医療に必要な医療資源(人的・物的)の投入を適切に行うなど、診療体制や医療機能の充実を図った。</p> <p>地域医療支援病院として、かかりつけ医との連携、救急車の受入れ強化、大型医療機器の共同利用等の推進など、地域の医療水準全体の底上げを目標とした諸活動を継続して行うとともに、在宅患者の緊急時の受入れを積極的に行い、地域包括ケアシステムにおける博多区の基幹病院としての役割を着実に果たした。</p> <p>総じて、公立病院として、また地域包括ケアシステムにおける地域の基幹病院としての役割を適切に果たしながらも、健全経営のための収益増、費用削減に継続的に取り組んだが、収支は悪化した。</p> <p>公立病院としての役割と健全経営の両立を図るため、さらなる収益の確保と費用削減に取り組むことが今後の大きな課題である。</p> <p>② 将来的なあり方に関する検討状況を踏まえつつ、公立病院として必要な医療機能を維持するとともに、施設・設備の老朽化等による危険個所等を精査し、現在の経営状況の中で優先順位を立てた上で、中長期修繕計画に基づき、非常用発電装置のバッテリーとなる直流電源装置及び病院本館の空調装置である吸収式冷温水発生装置3台の更新工事を行うとともに、ボイラー更新工事に着手した。</p> <p>また、外壁改修、ボイラー更新及び高置水槽更新に係る検討を開始し、安心・安全な医療サービスの維持に取り組んだ。</p>	2	3	3	<p>○ 必要な医療資源の投入やアセットマネジメントに基づく医療機能の維持に努め、高度専門医療、救急医療及び感染症医療などの提供により、地域の医療の底上げに寄与しており、年度計画を順調に実施していると判断されるため、「評価3」とする。</p>

第5 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

1 予算（令和元年度）

（単位：百万円）

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)
収 入			
営 業 収 益	17,502	17,066	△ 436
医 業 収 益	15,843	15,389	△ 454
運 営 費 負 担 金 収 益	1,468	1,469	1
補 助 金 等 収 益	99	98	△ 1
寄 附 金 収 益	0	11	10
受 託 収 入	91	99	8
営 業 外 収 益	205	196	△ 9
運 営 費 負 担 金 収 益	75	75	—
補 助 金 等 収 益	4	1	△ 3
そ の 他 営 業 外 収 益	126	121	△ 5
資 本 収 入	457	456	△ 1
長 期 借 入 金	—	—	—
運 営 費 負 担 金	457	456	△ 1
補 助 金 等	—	—	—
そ の 他 収 入	—	—	—
計	18,164	17,718	△ 445
支 出			
営 業 費 用	15,835	15,091	△ 744
医 業 費 用	15,659	14,958	△ 701
給 与 費	8,936	8,894	△ 42
材 料 費	4,047	3,505	△ 542
経 費	2,544	2,462	△ 81
研 究 研 修 費	132	97	△ 35
一 般 管 理 費	176	133	△ 43
給 与 費	124	93	△ 31
経 費	52	40	△ 12
営 業 外 費 用	190	188	△ 1
資 本 支 出	2,776	2,183	△ 593
建 設 改 良 費	1,357	764	△ 593
償 還 金	1,420	1,420	△ 0
そ の 他 支 出	—	—	—
計	18,801	17,463	△ 1,338

（注）計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。



## 2 収支計画（令和元年度）

（単位：百万円）

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)
収 益 の 部	18,146	17,677	△ 469
営 業 収 益	17,941	17,491	△ 451
医 業 収 益	15,843	15,373	△ 471
運 営 費 負 担 金 収 益	1,468	1,469	1
補 助 金 等 収 益	99	98	△ 1
寄 附 金 収 益	0	11	10
資 産 見 返 負 債 戻 入	440	450	10
受 託 収 入	91	90	△ 1
営 業 外 収 益	205	187	△ 18
運 営 費 負 担 金 収 益	75	75	-
そ の 他 営 業 外 収 益	130	112	△ 18
臨 時 利 益	-	-	-
費 用 の 部	17,829	17,074	△ 755
営 業 費 用	17,639	16,885	△ 754
医 業 費 用	17,262	16,078	△ 1,184
給 与 費	9,026	9,011	△ 14
材 料 費	4,047	3,224	△ 823
経 費	2,547	2,271	△ 277
減 価 償 却 費	1,508	1,479	△ 29
資 産 減 耗 費	2	2	0
研 究 研 修 費	132	91	△ 41
一 般 管 理 費	177	131	△ 45
そ の 他 営 業 費 用	200	676	476
営 業 外 費 用	190	188	△ 1
臨 時 損 失	-	-	-
純 利 益	318	604	286
目的積立金取崩額	-	-	-
総 利 益	318	604	286

（注）計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

### 3 資金計画（令和元年度）

（単位：百万円）

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)
資 金 収 入	22,169	22,289	119
業務活動による収入	17,707	17,041	△ 665
診療業務による収入	15,843	15,188	△ 656
運営費負担金による収入	1,543	1,544	△ 1
その他の業務活動による収入	320	310	△ 11
投資活動による収入	457	1,683	1,226
運営費負担金による収入	457	456	△ 1
その他の投資活動による収入	－	1,227	1,227
財務活動による収入	－	－	－
長期借入れによる収入	－	－	－
その他の財務活動による収入	－	－	－
前事業年度からの繰越金	4,006	3,564	△ 441
資 金 支 出	22,169	22,289	119
業務活動による支出	15,820	15,285	△ 535
給与費支出	8,856	8,903	47
材料費支出	4,047	3,325	△ 721
その他の業務活動による支出	2,917	3,056	139
投資活動による支出	1,238	1,815	576
有形固定資産取得による支出	1,238	585	△ 654
無形固定資産取得による支出	－	4	4
その他の投資活動による支出	－	1,226	1,226
財務活動による支出	1,538	1,524	△ 14
長期借入金の返済による支出	1,193	1,193	0
移行前地方債償還債務の償還による支出	226	226	0
その他の財務活動による支出	118	104	△ 14
翌事業年度への繰越金	3,573	3,665	92

（注）計数は原則としてそれぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

## 第6 短期借入金の限度額

中期計画	年度計画	実績
1 限度額 2,000百万円 2 想定される短期借入金の発生事由 ア 業績手当（賞与）の支給等による一時的な資金不足への対応 イ 予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等，偶発的な出費への対応	1 限度額 2,000百万円 2 想定される短期借入金の発生事由 ア 業績手当（賞与）の支給等による一時的な資金不足への対応 イ 予定外の退職者の発生に伴う退職手当の支給等，偶発的な出費への対応	該当なし

## 第7 重要な財産を譲渡し，又は担保に供する計画

中期計画	年度計画	実績
重要な財産を譲渡する計画 土地（福岡市中央区唐人町二丁目133番2 面積16,925.85平方メートル）を譲渡する。	なし	該当なし

## 第8 剰余金の使途

中期計画	年度計画	実績
決算において剰余を生じた場合は，病院施設の整備，医療機器の購入，教育・研修体制の充実等に充てる。	決算において剰余を生じた場合は，病院施設の整備，医療機器の購入，教育・研修体制の充実等に充てる。	令和元年度は，決算において剰余を生じたので，令和2年度以降における病院施設の整備，医療機器の購入，教育・研修体制の充実等に充てる予定である。

第9 地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則で定める業務運営に関する事項

中期計画	年度計画	実 績																		
<p>1 施設及び設備に関する計画 (平成29年度から平成32年度まで)</p> <p style="text-align: center;">(単位：百万円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">施設及び設備 の内容</th> <th style="text-align: center;">予定額</th> <th style="text-align: center;">財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">病院施設, 医療 機器等整備</td> <td style="text-align: center;">4,573</td> <td style="text-align: center;">福岡市長期借 入金等</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 人事に関する計画</p> <p>人事評価の改善に引き続き取り組むとともに、教育・研修体制の充実等により、職員のモチベーションの維持・向上を図る。</p> <p>また、適材適所を基本とした柔軟な人事配置を行うとともに、有期職員の活用やアウトソーシングの検討を積極的に行い、効果的・効率的な組織運営体制の構築を図る。</p>	施設及び設備 の内容	予定額	財源	病院施設, 医療 機器等整備	4,573	福岡市長期借 入金等	<p>1 施設及び設備に関する計画 (令和元年度)</p> <p style="text-align: center;">(単位：百万円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">施設及び設備 の内容</th> <th style="text-align: center;">予定額</th> <th style="text-align: center;">財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">病院施設, 医療 機器等整備</td> <td style="text-align: center;">1,357</td> <td style="text-align: center;">前中期目標期間 繰越積立金等</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 人事に関する計画</p> <p>人事評価の改善に引き続き取り組むとともに、教育・研修体制の充実等により、職員のモチベーションの維持・向上を図る。</p> <p>また、適材適所を基本とした柔軟な人事配置を行うとともに、有期職員の活用やアウトソーシングの検討を積極的に行い、効果的・効率的な組織運営体制の構築を図る。</p>	施設及び設備 の内容	予定額	財源	病院施設, 医療 機器等整備	1,357	前中期目標期間 繰越積立金等	<p>1 施設及び設備に関する計画 (令和元年度)</p> <p style="text-align: center;">(単位：百万円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">施設及び設備 の内容</th> <th style="text-align: center;">決定額</th> <th style="text-align: center;">財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">病院施設, 医療 機器等整備</td> <td style="text-align: center;">764</td> <td style="text-align: center;">前中期目標期間 繰越積立金等</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 人事に関する計画</p> <p>医師以外の管理職を対象とした人事評価制度について、令和2年4月からの本格実施に向けた検討を進めた。</p> <p>また、事務職員の効果的・効率的な人材育成を図り、もって将来のリーダーとなる職員を育成するため、外部の経営講座の派遣研修を実施した。</p> <p>各病院においても外部講師の活用による院内研修の実施や外部研修の受講を推進するなど研修体制の充実に努めた。</p> <p>人材育成や組織の活性化を図るため、適材適所の人事配置に努めたほか、有期職員をこども病院に140人、福岡市民病院に108人及び運営本部に2人配置するなど、効果的・効率的な組織運営を推進した。</p> <p>※有期職員の人数は令和元年5月1日現在</p>	施設及び設備 の内容	決定額	財源	病院施設, 医療 機器等整備	764	前中期目標期間 繰越積立金等
施設及び設備 の内容	予定額	財源																		
病院施設, 医療 機器等整備	4,573	福岡市長期借 入金等																		
施設及び設備 の内容	予定額	財源																		
病院施設, 医療 機器等整備	1,357	前中期目標期間 繰越積立金等																		
施設及び設備 の内容	決定額	財源																		
病院施設, 医療 機器等整備	764	前中期目標期間 繰越積立金等																		

## 地方独立行政法人福岡市立病院機構 業務実績評価の方針

地方独立行政法人法（以下「法」という。）第28条第1項各号の規定に基づき、福岡市長（以下「市長」という。）が実施する地方独立行政法人福岡市立病院機構（以下「法人」という。）の業務実績に関する評価（以下「評価」という。）については、以下の方針に基づき行うものとする。

### 1 基本方針

- (1) 評価は、法人が中期目標を達成するために、業務運営の改善及び効率化が進められること及び法人の質的向上に資することを目的として行うものとする。
- (2) 評価は、年度計画及び中期計画の実施状況を確認及び分析し、法人の業務運営等について総合的に判断して行うものとする。
- (3) 年度計画及び中期計画を実現するために、法人として特色ある取組や様々な工夫を行った場合は積極的に評価することとし、単に実績数値にとらわれないものとする。
- (4) 評価方法については、法人を取り巻く環境変化などを踏まえ、柔軟に対応するとともに、必要に応じて見直しを行うものとする。

### 2 評価方法

#### (1) 法人からの報告書の提出

法人は、各事業年度の終了後3月以内に、法第28条第2項及び地方独立行政法人福岡市立病院機構の業務運営等に関する規則第8条に定める報告書（以下「業務実績報告書」という。）を市長に提出するものとする。

#### (2) 評価の実施

市長は、提出された業務実績報告書をもとに、法人からの意見聴取等を踏まえて業務の実施状況を確認及び分析し、別途、実施要領で定める項目を評価単位とする「項目別評価」と、それを踏まえた「全体評価」により評価を行うものとする。

評価は、毎事業年度の終了後に実施する「年度評価」、中期目標の期間の最後の事業年度の直前の事業年度の終了後に実施する「中期目標期間見込評価」及び中期目標の期間の最後の事業年度の終了後に実施する「中期目標期間評価」とする。

#### ① 年度評価

当該事業年度における業務の実績について「項目別評価（小項目評価及び大項目評価）」を行う。また、「項目別評価」の結果を踏まえ、当該事業年度における業務の実績全体について総合的に「全体評価」を行う。

#### ② 中期目標期間見込評価

中期目標の期間の終了時に見込まれる中期目標の期間における業務の実績について「項目別評価（大項目評価）」を行う。また、「項目別評価」の結果を踏まえ、当該中期目標の期間の終了時に見込まれる中期目標の期間における業務の実績全体について総合的に「全体評価」を行う。

#### ③ 中期目標期間評価

中期目標の期間における業務の実績について「項目別評価（大項目評価）」を行う。また、「項目別評価」の結果を踏まえ、当該中期目標の期間における業務の実績全体について総合的に「全体評価」を行う。

### 3 評価結果等の活用

- (1) 法人は、法第28条第6項に基づく業務運営の改善等の措置を受けた場合、自主的に必要な措置をとるとともに、法第29条に基づき、評価の結果を、中期計画及び年度計画並びに業務運営の改善に適切に反映させる。
- (2) 次期中期目標の策定、次期中期計画の認可及び法人の業務の継続又は組織の存続の必要性等に関する検討に関して、評価委員会が意見を述べる際には、中期目標の期間の各事業年度の評価結果を踏まえるものとする。

### 4 適用時期

この方針は、平成30年度に実施する業務実績評価から適用する。

## 地方独立行政法人福岡市立病院機構 年度業務実績評価実施要領

地方独立行政法人法第28条の規定に基づき、福岡市長（以下「市長」という。）が地方独立行政法人福岡市立病院機構（以下「法人」という。）の各事業年度における業務の実績に関する評価（以下「年度評価」という。）を実施するにあたっては、「地方独立行政法人福岡市立病院機構業務実績評価の方針（平成30年6月22日決定）」に基づき、以下の要領により実施する。

### 1 評価区分

#### (1) 全体評価

当該事業年度における業務の実績全体について評価を行う。

#### (2) 項目別評価

##### ① 大項目評価

法第25条第2項第2号から第5号の各号に基づき、中期目標に掲げる第1から第4の事項について評価を行う。

##### ② 小項目評価

大項目評価で定める評価区分に基づき、別表で定める事項について評価を行う。

### 2 評価結果の公表

評価の結果は、評価区分ごとに評価結果報告書（別紙1のとおり）にとりまとめ公表する。

### 3 評価方法

#### (1) 法人の自己評価

法人は、中期計画及び年度計画の実施状況等が明らかになるよう、小項目ごとの当該事業年度における業務の実績をできる限り定量的に記載するとともに、次の5段階で自己評価を行い、判断理由等を記載した業務実績報告書（別紙2のとおり）を作成する。法人は、各小項目に市立病院としての役割や年度計画の重要度合いを考慮して、ウエイトを設定するものとする。

なお、業務の実績には、病院ごとの実績がわかるよう工夫し、特記事項として、特色ある取組、法人運営を円滑に進めるための工夫、今後の課題などを自由に記載するものとし、自己評価は、病院の自己点検に基づき、法人として行うものとする。

- 評価 5・・・年度計画を大幅に上回って実施している。
- 評価 4・・・年度計画を上回って実施している。
- 評価 3・・・年度計画を順調に実施している。
- 評価 2・・・年度計画を十分に実施できていない。
- 評価 1・・・年度計画を大幅に下回っている。

## (2) 項目別評価

### ① 小項目評価

市長は、業務実績報告書記載の法人の自己評価を踏まえ、小項目ごとの当該事業年度における業務の実績について、次の5段階による評価を行う。その際、単に目標値及び前年度数値と当該年度の実績値の比較だけでなく、中期計画を達成するために効果的な取組が行われているかどうかなど、総合的に判断するとともに評価の判断理由等を記載する。

その他、必要に応じて、特筆すべき点や遅れている点についてコメントを付す。

- 評価 5・・・年度計画を大幅に上回って実施している。
- 評価 4・・・年度計画を上回って実施している。
- 評価 3・・・年度計画を順調に実施している。
- 評価 2・・・年度計画を十分に実施できていない。
- 評価 1・・・年度計画を大幅に下回っている。

### ② 大項目評価

市長は、小項目評価の結果を踏まえ、大項目ごとの当該事業年度における業務の実績について、次の5段階による評価を行う。評価に当たっては、小項目評価の1～5をそれぞれ1点～5点とし、ウエイト換算後の合計を評価点、すべての小項目評価が3の場合の合計を標準点とし、標準点に対する評価点の割合(%)により評価を行うものとする。

また、特筆すべき小項目評価やその他考慮すべき事項がある場合、判断理由を記載する。

- 評価 S：中期計画の実現に向けて、特筆すべき進捗状況にある  
(市長が特に認める場合)
- 評価 A：中期計画の実現に向けて計画以上に進んでいる  
(評価点が標準点の120%以上)



評価B：中期計画の実現に向けておおむね計画どおり進んでいる  
(評価点が標準点の100%以上120%未満)

評価C：中期計画の実現のためにはやや遅れている  
(評価点が標準点の100%未満)

評価D：中期計画の実現のためには重大な改善すべき事項がある  
(市長が特に認める場合)

### (3) 全体評価

市長は、項目別評価の結果を踏まえ、当該事業年度における業務の実績全体について、記述式による評価を行う。

全体評価においては、病院改革の取組(法人運営における業務運営の改善・効率化、財務内容の改善など)を積極的に評価するものとする。

その評価にあたり、項目別評価の結果及びその判断理由とともに、主な取組や特色ある取組及び特に優れている点など特筆すべき取組について記載するものとする。

また、評価に際し改善すべき事項がある場合は記載する。

## 4 適用時期

この要領は、平成30年度に実施する業務実績評価から適用する。

(別表) 項目別評価

大項目	小項目	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	1 医療サービス	(1) 良質な医療の実践
		(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進
		(3) 災害時等の迅速かつ的確な対応
	2 患者サービス	(1) 患者サービスの向上
		(2) 情報発信
	3 医療の質の向上	(1) 病院スタッフの確保と教育・研修
(2) 信頼される医療の実践		
第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項	1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実	
	2 事務部門の機能強化	
	3 働きがいのある職場環境づくり	
	4 法令遵守と公平性・透明性の確保	
第3 財務内容の改善に関する事項	1 経営基盤の強化	(1) 経営基盤の強化と運営費負担金の縮減
		(2) 投資財源の確保
	2 収支改善	(1) 収益確保
		(2) 費用削減
第4 その他業務運営に関する重要事項	1 福岡市立こども病院における医療機能の充実	
	2 福岡市民病院における経営改善の推進	